



交流  
特集号  
第2弾

## 世代を越えて集う「東京鰐陵会」を目指して

特集1「石巻圏地域の未来を創造する」 特集2「会員と共に」 特集3「母校は今」

東京鰐陵会・会長挨拶

## コロナを乗り越え、幅広い世代交流

東京鰐陵会会長 加藤友成(40回生)



東京鰐陵会の皆様、日頃は当会の運営に格段のご支援とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

令和3年11月の第29回総会(書面総会)において会長に選任されました加藤でございます。この4年間は佐藤前会長のもと、事務局長を務めてまいりました。諸先輩の皆様が積み上げてこられた実績と伝統を踏まえながら、新しい同窓会のあり方を目指して微力ながら一層の発展に全力を尽くしてまいります。皆様、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスのまん延は3年目に入り、社会全体に大きな影響を与えております。

令和2年度の東京鰐陵会総会は新型コロナウイルスにより史上初めて中止を余儀なくされました。令和3年度は様々な検討を重ねた結果、初めての「書面総会」の実施となりました。2年続けての中止は避けたいということとで実施されました。運営委員会、理事会そして会員の皆様からのご理解を賜り、無事終了出来たことに感謝申し上げます。

令和4年に入り第6波・第7波と新型コロナウイルスの感染の波は続き、依然として不透明な状態が続いております。政府・自治体は社会との共存を図りながら尽力しております。このような中で役員会ではリアル開催を前提として議論を重ねてきました。その結果、感染リスクのある中で安全・安心な環境でのリアル総会の開催は困難との判断に至り、中止の決定をせざるを得ないで一杯です。

令和5年の「東京鰐陵会総

会」は第30回という節目を記念してリアル総会としての開催を目指すことにしました。

令和2年からはリアルでの総会が出来ておりませんので米寿・喜寿のお祝いも実施出来ておりません。来年の総会では米寿祝いは23回生・24回生・25回生・26回生の方、喜寿祝いは34回生・35回生・36回生・37回生の方が対象となります。対象の参加の方には記念品を贈呈させていただきます。来年こそは楽しいリアル総会にしたいと切に願っております。そして我々役員一同は東京鰐陵会創設の原点に立ち戻り「世代を越えて集う「東京鰐陵会総会」を目指して」の準備をしております。多くの皆様の参加をお待ちしております。

会報誌「東京鰐陵20号」については交流の促進に貢献できるものにしていくために様々な特集を考えました。

特集1は「石巻圏の経済面から見た活動報告」です。2

市1町の商工会議所や民間企業の活動紹介と致しました。また、ふるさと納税の紹介もさせて頂いております。地元産品の購入で少しでも故郷へのお役立ちができればと思います。

特集2は「会員と共に」と題し、東京鰐陵会総会の振り返りと共に会員の方からの寄稿や「会員からのお便り」を紹介しました。

特集3は「母校は今」ということでコロナ禍での生徒たちの状況を報告して頂きました。そのほかにも「特別寄稿」や「トピックス」等も掲載しております。是非ともご一読ください。そしてこれから新たな取り組みにチャレンジしていきたいと考えております。

昨年は会の運営の為に会員の皆様に「運営資金援助協力」をお願いをさせて頂きました。その結果多くの皆様より多額の協力が集まりました。ここに皆様のご協力に感謝するとともに心より厚く御礼申し上げます。今年度につきましても引き続き皆様のご協力・ご支援をお願いする次第でございます。よろしくお願い申し上げます。

# コロナ禍に思う

鰐陵同窓会会長 青木利光(43回生)



ン接種も進み、減少の兆しも見えてきました。開催の方向で、主管回生と共に慎重に検討、対応していきたいと考えております。

東京鰐陵会の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。ここ二年間はコロナ禍で大変窮屈で不自由な生活を強いられていることと推察致しますが、ご清祥のほどを心より祈念申し上げます。

昨夏、デルタ株が猛威を振るった第5波も暮れには新規感染者が劇的に減少し、収束を感じさせられたのも束の間、年が開けるとオミクロン株による感染が瞬く間に拡がり第6波となったのは周知の通りです。石巻でも毎日二桁の新規感染者が出ており、三月初めには累計で2,000人を超えました。この状況が早期に改善しない限り、令和4年度の総会開催は難しくなります。幸いにも三回目のワクチン

うです。ある意味、県内の高校に於ける母校の立ち位置が示唆されている気がします。定員割れの原因を早急に分析、対処する必要がありますが、学校単独ではなかなか難しいと考えております。

3月11日で大震災から11年になります。各復興事業もほぼ完遂しました。一昨年9月10日に開通した新内海橋を渡ると北上川周辺の変貌ぶりがよく分かります。少し北に中瀬に通じる西内海橋、漫画館は震災前と変わりませんが、日和大橋の手前には新しく架かった石巻かわみなど大橋、間もなく開通を迎えます。震災前には何もなくたつた両岸には石巻大橋から河口まで立派な堤防がほぼ出来上がりました。石巻に通っていた頃の風景は様変わりしましたが、新しい石巻を見に来て下さい。

佐藤前会長には二期4年間、大変お世話になりました。二期目はコロナ感染症予防のため、総会も開けず、難しい運営を強いられたと思います。本当にご苦勞様でした。加藤新会長も難しい時期での船出になり、舵取りも大変でしょうが、会報No.19にある『世代

を超えて集う「東京鰐陵会」を目指して」頑張つて下さい。

昨年20回生の村井昭郎氏と25回生の吉野敏氏より多額の寄付を頂きました。紙面をお

## コロナ禍の鰐陵生

宮城県石巻高等学校校長 高梨正博



借りして厚く御礼を申し上げます。

結びに東京鰐陵会の益々の発展と会員各位のご健勝とご活躍を心より祈念致します。

ルス感染症のため、残念ながら令和二年度に引き続き中止となつてしまいました。ここで初めて御挨拶させていただきましたこと、御了承賜りたく存じます。

東京鰐陵会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より母校、石巻高等学校の教育活動に対しまして格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

申し遅れましたが、私は昨年四月に前神成校長先生の後を受け、石巻高等学校の校長を拝命いたしました「高梨正博」と申します。本来であれば「東京鰐陵会」で皆様方と御挨拶をさせていただくところでしたが、新型コロナウイルス

学校は令和三年度も令和二年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら生活を送っております。密集を防ぐ、大声の禁止等により入学式や対面式、応援練習などが制限を受けておりますが、令和二年度の経験を踏まえ、やれる範囲で学校行事を実施するという方向で、生徒諸君・先生方の協力の下、「鰐陵総体」「鰐陵祭」等を実施いたしました。また、高校生活最大の行事である二年生の「修学旅行」も令和二年度と同様、規模を縮小し、なんとか実施いたしました。



生徒の学習においては、いずれはそのような時代が訪れると思われる「オンライン授業」がコロナ対策のために本格的に導入されました。現在はまだ手探り状態ですが、世界中がデジタル社会へ急速に転換していることに呼応し、学校教育におけるデジタル化は更に進んでいくものと思われ

れます。今後は双方向での対話を含んだ授業、課題等の電子化などが取り入れられるものと思います。しかし、私はやはり学習の基本は「対面による授業」であると考えています。生徒と教員が向き合い、授業や部活動に取り組むことで、人間関係の醸成やお互いの信頼が生まれるものと信じているからです。デジタル化が進む時代だからこそ、人と人の出会いを大切にしていきたいと思っています。

そのような環境でも、運動部では、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に、「ウエイトリフティング部」、「ボート部」、「ヨット部」が出場を果たしました。学芸部（文化部）においても、「書道部」、「新聞部」が和歌山県で開催された全国高等学校総合

文化祭に「宮城県代表」として参加しました。「吹奏楽部」も五月に無事「定期演奏会」を開催するとともに、各種コンクールにも出場いたしました。「書道部」、「新聞部」、「美術部」については、今年八月に、東京都で開催の全国高等学校総合文化祭に参加することになっております。

進学面では、令和三年三月卒業生は九十五名が国公立大学に合格いたしました。学習する環境が難しかった時期においても、コツコツと努力を重ねてきた結果ではないかと思っております。令和四年三月卒業生にも是非、続いてほしいと願っています。

に知りました「質実剛健 進取獨創 自ら進運を開拓すべし」という生徒心得綱領は、脈々と続く鰐陵生の基本だと感じております。猛スピードで変化していく社会で、新型コロナウイルス感染症が世界を覆う中、鰐陵生は自分のことのみならず日本・世界全体を考えながら未来を切り拓い

ていってほしいと願っています。我々教職員もその一助になるよう取り組んで参ります。最後になりますが、改めてして東京鰐陵会の皆様の御活躍と、本校教育活動に対する更なる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 特集プロローグ

「2020年度総会の中  
止」、そして「2021年度の書面総会」という事態の中で、今号は前号に引き続き「交流特集号」としました。具体的には、「石巻圏の未来に向けて―経済面―」、「会員と共に」、「母校は今」の3本の特集を柱に編集しました。

### 特集1 「石巻圏の未来に向けて―経済面―」

前号は石巻市、東松島市、女川町の3自治体から「震災からの復興状況と残された課題」というテーマで報告を頂きましたが、今号は経済面での報告という事で「石巻商工会議所の青木八州会頭」、「東

松島市商工会の橋本会長」そして「女川みらい創造株式会社阿部喜英社長」に寄稿をお願いしました。

このうち石巻では、「喫緊のコロナ対策」、そして石巻市内の事業者を「のこす」、「ふやす」、「へらさない」を目標に新たな挑戦を行っています。東松島では「企業の持続的な支援と地元雇用の創出による地域経済循環」、そして女川では「エリア価値の向上を目指した公民連携」に取り組んでいます。

また今号では「ふるさと納税」について石巻市、東松島市、女川町から共同で寄稿して頂きました。「ふるさと納税の仕組み」の説明と共に2市1町からは「寄付金の使い道」と「お褒めの

返礼品紹介」、そして「自治体からのメッセージ」を頂きました。是非、ご一読ください。

### 特集2「会員と共に」

会員を中心とした特集として、まず佐藤悠前会長からは「4年間の東京鰐陵会の活動」について振り返って頂きました。

また3氏から寄稿を頂きました。このうち「館澤佑氏」にはご本人の50年間に亘る海外生活を始めて頂きました。鰐陵生を始め若い世代へのメッセージも込められています。「亀山裕昭氏」からは「自ら進運を開拓すべし」と題して真っ直ぐ愚直に続ける事の大切さを、「亀山兵吉氏」には同期会について紹介して頂きました。「生きていく限り青春だ!!」という鰐陵スローガンは今も勇気づけられるとの事です。

そして「会員からのお便り」は、書面総会関係の情報のためスペースが小さくなってしまうましたが、多くのメッセージをお寄せ頂きました。

### 特集3「母校は今」

コロナ禍での一年間を振り返り、鰐陵同窓会の二階堂守宏事務局長（57回生）から寄稿して頂きました。

「ウィズコロナの学校生活」と題して感染対策等の工夫を凝らしながら行事を行い、「ウィズコロナへとうまくシフトできた一年だった」と振り返っています。また高橋英吉氏（3回生）の「聖観音像」が石巻市に貸与され「博物館」に展示される話題や「百周年記念事業」の進捗状況についても報告があります。お楽しみください。

## 特集1 石巻圏の未来を創造する

## 経済面からの報告

## 石巻商工会議所「活動報告」

石巻商工会議所会頭 青木 八州



「商工会議所」って何をやっているの、わかっている人は、国民の1割か2割しかないだろう。今、会社の名称も横文字になって会社の名前から事業の内容を想像できなくなってきた。しかしながら、「商工会議所」は昔ながらの名称であるにもかかわらず、理解してもらえないのか。経済人であれば、商工会議所は経済3団体のうちの1つであり、日本経済団体連合会（経団連）、経済同友会と同様よく耳にする。

商工会議所は、経済界の寄合所であり、異業種の交流の場である。昨年のNHK大河

ドラマ「青天を衝け」の主人公である澁澤栄一氏らが明治11（1878）年、東京商法会議所を立ち上げたのが前身であり、現在では、日本商工会議所をトップとして全国に515の商工会議所が存在し、それぞれの地域で活動している。商工会議所は(1)地域性―地域を基盤としている、(2)総合性―あらゆる業種・業態の工商業者から構成される、(3)公共性―公益法人として組織や活動などの面で公共性をもっている、(4)国際性―世界各国に商工会議所が組織されている、という4つの特徴をもっている。

業し易い環境づくりや、日本の企業の99%強を占める中小企業の育成、雇用の確保など地域経済の中で欠かすことができない経済問題に取り組んでいる。現在、経済界において様々な課題・問題を抱えている。東日本大震災の復興や後継者問題にはじまり、コロナ禍における資金繰り問題など多岐にわたっている。商工会議所はこれらの問題をクリアにすべく課せられた役割は大きい。

私が商工会議所の活動に参加したのは、平成8年。右も左もわからないまま商工会議所の議員となり、経済活動に参加。平成12年、若い力で石巻を変えていきたいとの思いから、青年部に入会、平成20年から2年間会長として街づくりや地域活性化に取り組んだ。青年部活動を通じ、日本全国の商工会議所メンバーとの繋がりができ、今もその人脈が私の大きな財産である。令和元年、石巻商工会議所第9代会頭に就任。会頭になって商工会議所の役割の重要性和経済活動における「何でも屋」、そして地域のオピニオンリーダーとしての自覚が生まれた。

た。お陰様で被災事業者の再建を促す「グループ化補助金」や二重ローンの解消にむけた買取り制度、震災融資の創設や雇用調整助成金など震災復興の後押しをしていただいた。震災から12年、都市基盤や企業においては復旧はなされたものの、復興には至っていない現状である。課題を抽出して1日も早い復興を進めていきたい。

石巻商工会議所では、喫緊の課題としてコロナ対策への取り組み、そして石巻市内の事業者を「のこす」（経営安定）、「ふやす」（創業）、「へらさない」（事業承継）を目標に石巻地域の産業の振興と雇用の確保、持続可能な地域づくりをすることが商工会議所の原点であることを念頭に置き、今までの常識にとらわれず、迅速に日々新たなものに挑戦できる体質強化を図っていくつもりである。

東京鰐陵会の皆様方におかれましては、ふるさと石巻へのご支援ご協力を切にお願いし、ペンをおかせていただきたい。



# 東松島市商工会「活動報告」

## 企業の持続支援と地元雇用の創出による地域経済循環

東松島市商工会会長 橋本孝一



東京鰐陵会の皆様には、災害時に多大のご支援、ご厚情を頂き感謝申し上げます。

### 被災者雇用の実現

東日本大震災から11年とまりました。この間に街並みは大きく変貌しました。

震災の復興、復旧に向け、東松島市商工会としては独自の方法で取り組んで参りました。災害時から「地元の復興、復興は地元の企業で」との合言葉で、地域住民に寄り添いながら官民一体となり他の地域に先駆け、災害復興資金を有効活用して進めてまいりました。又、リサイクル率を上げて環境にやさしいエコで復旧費を安く抑えられる方法



「東松島方式」を生み出した。この方式は第一回プラチナ大賞においてプラチナイノベーション賞を受賞し、国内外から認められることとなりました。（SDGsの先駆けだと思います）

このプロジェクトは、「東松島式震災ごみリサイクル（東松島方式震災がれき処理）」として、震災ごみ（ガレキ類）だけで通常の100

年分以上の災害廃棄物3、259千トン）を徹底して分別、リサイクルすることで①処理費用の削減、②被災者の雇用を実現するものとして実施しました。可搬型の建設機材・機械等を活用した処理スキームを独自に構築し、

「手選別」という一見原始的な手法を用いることでリサイクルの精度をあげ、被災者を含めた新たな雇用を生んだことは、被災により職を失った方たちに希望を与えました。

### プロジェクトによる成果

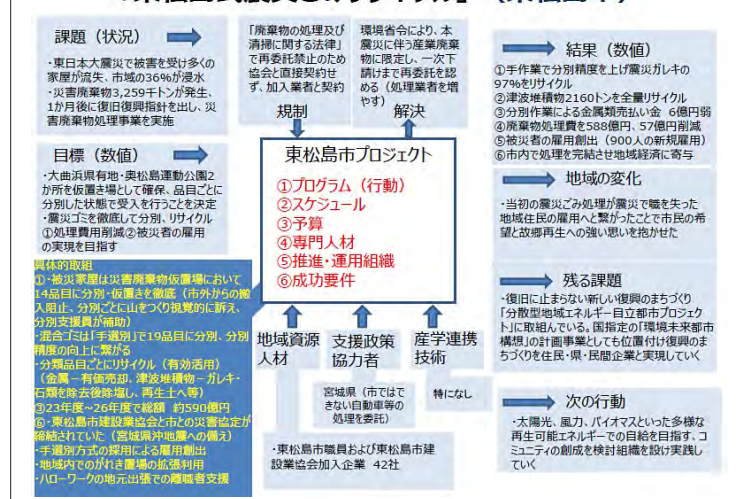
①手作業により選別の精度を上げ、災害により発生したガレキの97%以上をリサイクルにより資源化。  
②津波堆積物2、161千トンを再生土として、全量リサイクル。

り1500人、うち約900人の被災者の新規雇用を創出。  
⑥極力、市内で処理が完結する仕組みをつくり、地域経済の復興に寄与。

### 地域経済循環構造の再構築

皆様ご存じの通り、東松島市は、旧矢本町と旧鳴瀬町が平成17年に合併して誕生。南は仙台湾に面し、東に宮城県第二の都市石巻市、西は日本三景の松島町に接し、東北にあつては温暖な気候と自然に恵まれた街です。一般的に奥松島と総称される大小さまざまな島や日本三大溪のひとつである嵯峨溪など「日本三景」の一角を占める自然景観があることで知られています。民宿は東日本大震災前には、42軒ありましたが、現在は8軒と激減しています。また、まだ本格的な再開はできていませんが、震災前までは多くの人が訪れた海水浴場もあり、産業は農業と水産業が盛んでありましたが、復興需要ということもあり建設関連事業者数は小規模事業者も含めると50事業者ほど震災前より増えています。

### 「東松島式震災ごみリサイクル」（東松島市）



③分別作業により、平成25年末時点で金属類の売り払い金額として約5億9千万円の歳入。  
④災害廃棄物の処理後、必要なくなる施設等の建設をせず、経費を削減。23年～26年の4か年で645億円と見込んでいた事業費を588億円で完了、9%にあたる57億円を削減。  
⑤全体で1日当た



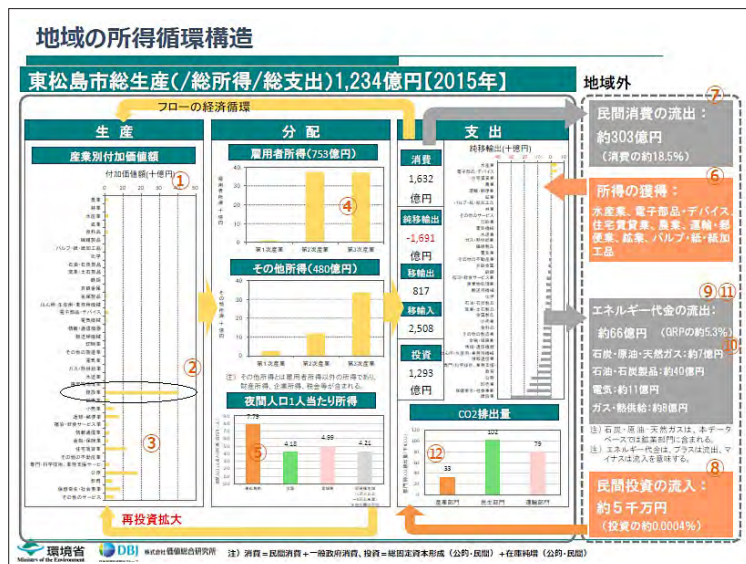
現在、東松島市の地域経済は建設業を中心に循環しています。

環境省の地域経済循環分析システムを活用しますと、具体的にみることが出来ます。

付加価値が地域住民の所得や地方税収の源泉となることを考えますと、建設業から生み出される付加価値額は東松島市全体の約3分の1(32.9%)と最も大きく、地域において中心的な産業と言えます。

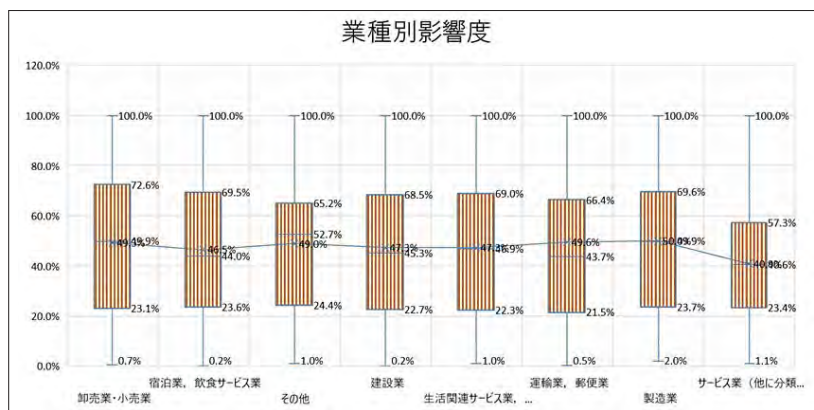
この地域経済循環構造は現在も変わっていません。しかし、復興需要はそろそろ収束を迎えようとしています。ですから、仕事をなくしていくであろう事業者の事業転換や業種転換の支援等、そこにあった雇用を守る施策や支援により、この経済循環構造を変化させていかなければなりません。

このような時期にある今、経済は新型コロナウイルスによる大打撃を受けています。



【地域経済循環分析用データ作成のための主な利用データ】

平成27年産業連関表  
平成27年都道府県産業連関表  
平成27年国勢調査  
平成26年経済センサス-基礎調査  
平成28年経済センサス-活動調査  
平成27年工業統計調査  
平成27年度市町村別決算状況調



経済への影響は周知の外食産業にとどまらず全産業に及んでいます。

東松島市内約800事業所を調査したところ平成2年前期は、宿泊・飲食サービス事業者の受けた影響の大きさが突出していましたが、平成2年後期から平成3年にかけては、業種ごとにその半数が入るIORに大きな差はなくすべての業種において同

程度の影響を受けているという結果でした。

### 東松島市商工会の取組

グループ補助金の活用、創業支援・新規事業者のスタートアップ支援、地域内消費喚起策としての割増商品券の継続発行の他に独自策にも取り組んでおります。

3年前から「東松島大賞」を設けて、新しい視点からの商品開発や持続する経営への取り組みを応援しております。また地域の発展は足元からと、地元で長年頑張っておられる企業をよく知るために市役所と連携して企業訪問を実施し、問題の聞き取りをおこない、課題として取り組むべきことの整理、現行の制度、施策から助言できることのアドバイスなどを行いました。また青年部にイベント等を任せて自主性とアイデアをどんどんだして頂き地域の若返りを図っております。

商工会として令和4年度は次の4つを重点と考えております。

①新たな生活様式に対応した経営計画策定支援などの「コロナ禍克服のための中

小・小規模事業者への伴走型支援の強化

②事業再建や新商品/新サービス開発による販路開拓などの「自然災害等の影響を受けている中小・小規模事業者に対する継続的支援」

③中小・小規模事業者に対する事業継続力強化計画の策定支援など「中小・小規模事業者のリスクマネジメント支援の推進」

④中小・小規模事業者に対するDXの推進支援、事業承継及び経営資源集約化等への取り組みに対する支援強化などの「中小・小規模事業者の経営環境整備の推進」

この2年は新型コロナウイルスによる企業活動の制限のほか、温暖化による漁業不振や海産物の被害など深刻さを増してきております。青年部や女性部も含めて知恵を出し合い、時代に即した需要にこたえるべくIT等を活用した販路の拡大、アフターコロナを見据えた利益獲得につなげられるように努力していきたいと思っております。

# 女川町の経済状況について

女川みらい創造株式会社 阿部 喜英



## 女川みらい創造株式会社について

女川みらい創造株式会社は、女川駅前商業エリアの不動産価値を高めるエリアマネジメントを行うため2014年6月に設立された「まちづくり会社」です。株主は女川町商工会(26%)、女川町(24%)、女川町観光協会(20%)、女川魚市場買受人協同組合(20%)、(株)コバルトレー(10%)となっています。「まちづくりは行政だけがやるものでも、民間だけでやるものでもなく、互いに役割を分担し、各主体が関わり合って作り上げていくもの」震災以降、女川町はこうした公民連携のまちづくりを行ってきました。その象徴的なエリアが、女川駅から海へと続く、歩行者専用道路のレンガみちを中心とした女川駅前商業エリアです。弊社はそのエリア内でもレンガみち沿いに建つテナント型商業施設「シーパルピア女川」

(2015年12月開業、開業当初テナント数27店舗。現在30店舗)と「地元市場ハマテラス」(2016年12月開業、開業当初テナント数8店舗。現在7店舗)のテナントリーシングと管理を行っています。

初代の代表取締役社長は当時(社)女川町観光協会会長の故・鈴木敬幸氏(42回生)、現場の責任者として、リーグ入りを目指す女川のサッカークラブ「コバルトレー女川」のオーナーで石巻日日新聞(株)社長でもある近江弘氏(49回生)が専務取締役役に就任されました。2017年6月、鈴木敬幸氏の逝去に伴い、相談役であった当時女川町商工会会長の高橋正典氏が社長に就任。2020年7月に三代目の社長として私が代表取締役に就任致しました。

## 復興事業の現況

あれから11年の月日が過ぎ、わが町のハード面の復興整備はほぼ完了しています。2020年12月、女川湾前の商店街やマリンパル女川があった場所には海岸広場が完成し公設のスケボーパークが供用開始。2021年8月にはファッ

ションブランドの「SNIDE L」や「Gelato Pique」などを展開するマッシュホールディングス様から寄贈を受けた公園「マッシュパーク女川(MASHPARK ONAGAWA)」がオープン。この公園内の遊具は海の生き物をモチーフにしており、女川の自然の美しさを街に溶け込む色彩で表現したものになっています。また、2021年9月にはコバルトレー女川のホームスタジアムともなる女川スタジアムが完成し、今春より供用となります。

女川の復興まちづくりのコンセプトの二つに、集客装置の集中配置による人的動線の集約、というものがあります。にぎわいとそれによる効果を生み出すには、まずは消費を目的としない町内外の来訪者の創出が不可欠であり、その流れがにぎわいと経済活動の基礎となるからです。他の公共施設も含め、これらの完成した施設を活かし、それをどう増やしていくか？海岸広場を活用して10年ぶりとなる「女川みなと祭り」の復活、スタジアムを活用してのサッカーやラグビーの全国大会誘致等々を企画し実施が予定されていた中で、新型コロナウイルス感染拡大と言う、世界レベルの災害に見舞われました。これによりあらゆる企画が中止・延期を余儀なくされ

ました。関係人口や交流人口を増やし女川圏域での経済循環と活性化へ繋げてきた、この10年の間に培ってきた仕組みや新たな仕掛け、ノウハウが使えない、使つてはいけないという状況となつてしまいました。

## 第二期女川町復興連絡協議会

しかし、この難しい状況の中にあつても、その状況にあるからこそ、この地で暮らし、生きる女川人は状況に風穴を開けるべく果敢にチャレンジし続けました。

遡つて約11年前、震災から約1ヶ月後、震災復興を行政任せにせず自らの力で立ち上がっていくと、産業界が二つとなり女川町復興連絡協議会が設立され、民間主導の復興の基礎となったのですが、「このコロナ禍は第二の震災であり、震災復興同様再建には10年かかる」という共通した認識から、2020年5月、第二期女川町復興連絡協議会が立ち上がりました。七十七銀行様の協力でクラウドファンディングを立ち上げたり、インターンに次の10年で目指すべき方向を考えながらもつたり、部会を立ち上げて町の産業界の若手に議論してもらったりと、具体的な動きにも繋がっていました。2021年4月にはまちづくりで目指す将来像をまとめた提言書「女川未来ビジョン」を策

定。「わたしが生きる場所 あなたが活きる場所―女川」をコンセプトに、産業構造の変革や町内のオープンスペースの活用、教育環境への投資、海・山の資源の利用促進などへの提言を掲げ、女川町長と女川町議会議長宛に提出し、同年5月の総会をもつて活動を休止しました。

## コロナ禍での取組

この他にもコロナ禍での取組事例として、弊社と商工会、観光協会が連携し週末に前述のレンガみちへ椅子とテーブルを設置しました。これは密を避ける為に客席数を減らさざるを得ない飲食テナントの席数をカバーすること、来町者へ向けて屋外空地活用による安心安全をアピールする2つの目的がありました。ただし、歩行者専用道路であつても、道路交通法が適用される町道であるレンガみちに椅子とテーブルを設置するのは意外と簡単なことではなく、所有者である町と許認可を司る警察との協議を経て実現したものです。弊社はコロナ以前から女川町から道路協力団体の指定を受け、レンガみち利用者の道路使用申請について、行政と利用者の間に立ち、申請手続きを柔軟化することで、レンガみち上でのイベント実施のハードルを下げる取組を公民連携で行ってきました。そのことがス



ピード感に繋がっています。なお、このことは後に町による常設のテール設置に繋がっています。

### 既存施設が道の駅に登録

2021年4月、「地元市場ハムテラス」を核施設として「シーパルピア女川」「女川町まちなか交流館」「女川町たびの情報館ぶらっと」のレンガみち周辺4施設が「道の駅おながわ」として国の登録を受けました。既存施設を活用したエリアでの道の駅登録は全国でもあまり例がないものです。これも約3年がかりで民間側からの気付きとアイデアを行政の担当者が形にした、女川らしい公民連携事例と言えると思います。

新しい女川の町を知っている方からは、どこに道の駅が出来たの？と聞かれることもあります。女川町のことを事前知識なく、道の駅だからと言う理由で目的地にしてくださる事例も増えました。私の本業は河北新報の販売店で、駅前商業エリアを週4日程度配達しているのですが、道の駅登録後はエリア周辺にある町営無料駐車場に車中泊をする一般車やキャンピングカーを配達時に良く見かけるようになりました。

2022年2月には、弊社が都市再生推進法人として女川町から認定されました。これにより、これ

まで以上に公民連携での事業が行いやすくなります。

### イベント関連

コロナ前までは春の祭り、秋の秋刀魚収穫祭、冬の駅前商業エリア開業祭と、季節ごとにイベントを実施してきましたが、これらは近隣からの集客と同時に、震災で縁が出来た全国の方々の再会の場でもありました。直接会って旧交を深める、そんな一年に何度かの場も新型コロナウイルスは奪っていました。しかし新しい生活様式で開催されたイベントもありました。これまで牡鹿半島を中心に開催されてきたリボンアートフェスティバルです。

2021年8月11日(水)～9月26日(日)の期間、今回は女川町も会場となりました。丁度同時期全国的に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令されていました。もしリボンアートの会場になつていなければ、人流がかなり抑制され観光消費額に大きな影響があったと思われると思います。実際は来町客数は大きく落ち込まずに済みました。

2021年12月には、約2年ぶりに集客イベントとして「おながわ冬のまつり」を小規模ながら開催することが出来、そして2022年3月下旬には、津波避難の原則Ⅱ

高台へ逃げることを競走イベント体裁を通じて後世へ伝えていく「津波伝承女川復幸男」及び春のまつりをコロナ前に近い形で開催するはずでしたが、3月16日深夜に東北地方を襲った最大震度6強の地震の影響で残念ながら急遽中止となりました。地震後数日間は余震が予想されること、また何よりも全国からの参加者やゲストとしてお招きする予定だった歌手やタレントの皆さんの主たる移動手段である鉄道や道路にも被害が発生し、移動そのものも難しくなつたためです。

### コロナ禍での行政の施策

コロナ前に、わが町には年間約40万人の方に来町して頂けるまでになっていました。震災前は70万人ですので、順調に回復しつつある状況でしたが、コロナ禍の現在は約20万人程度まで減少しています。震災時と違い局所的な被害ではなく世界的な災害であるため、女川だけに資金が提供されるということはありません。そのような状況下、女川町が町民一人あたり1万円の商品券の配布や割増型の商品券の販売など、地元経済の下支えの為に予算を組んで頂きました。こうした施策のお陰もあり、コロナ禍でのシーパルピア女川でのテナントの退店は1店舗のみ。そこもすぐに次の

お店に入居頂いています。町の補助政策等もあつて何とか持ちこたえています。退店等の具体的な動きに繋がっていくのは今年だと思っています。

先行き不透明な状況下ではあります。学校統合で使われなくなつた旧女川中学校の校舎と土地の活用を町がこのたび公募したところ、楽器機器通販大手のサウンドハウス様を買取し、校舎や体育館はそのまま活かし倉庫やオフィス化され北海道・東北・北陸向けの物流拠点とすることが決まる、という明るいニュースも入ってきました。子ども向けの無料音楽教室などにも活用していくとのことで、窓口となる店舗をシーパルピア女川に出店頂くことも決まりました。経済面でも雇用面でも大きい波及効果が期待されると思います。

### 道路関連

女川町は、海を埋め立てて土地を広げ、遠洋漁業の基地として発展してきました。まちが海へ向かって発展してきたので、遠洋漁業が衰退し車社会になつても、なかなか時代に対応出来ずにいました。しかし震災がきっかけではあつたものの、ようやく車社会に対応したまちづくりが進みました。2022年3月24日には国道398号線

から分岐して万石浦湾の上を通り女川バイパスへ繋がる「浦宿橋」が開通。これまで大雨時の冠水で現国道が通行止めになることもありましたが、これで解消されます。また、震災以前からの悲願であつた国道398号石巻バイパスが、国の直轄施工により石巻市井内地区から女川町大沢までをトンネルで繋ぐことが決まりました。三陸自動車道 石巻女川ICを降りて、道の駅おながわの看板の案内通りに真っ直ぐ進むと一度も曲ることなく女川に着くようになります。開通までおよそ10年近くかかると思いますが、仙台圏との時間的距離が大きく縮まることは、観光面、経済面において期待出来ると思います。

### 次の10年

復興から次の10年へ向けて歩を踏み出そうとしたところでのコロナウイルス感染症拡大ではありましたが、ようやくニューノーマルな形ですが、次を踏み出すフェーズになつたかと思っています。女川みらい創造(株)として、道の駅おながわを核としたエリアの価値を高めていくことが結果、女川町全体の価値を高めていくことへ繋がれるように公民連携で取り組んでいきたいと考えています。是非感染症対策は万全に皆様女川町へ足を運んで頂ければ幸いです。



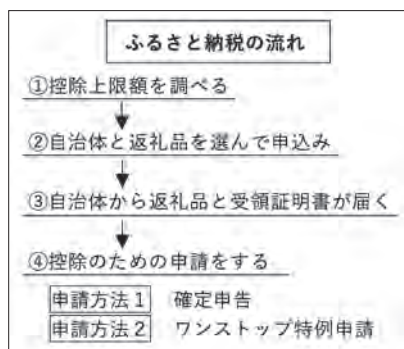
## 東京鰐陵会の皆様へ

## 石巻市・東松島市・女川町からふるさと納税のご案内

## ふるさと納税の概要

ふるさと納税とは、出身地に限らず、応援したい自治体を自由に選択し、寄附をすることができるとの制度です。

特徴としては、寄附額に応じて寄附先の自治体からお礼の品（特産品）が届くほか、翌年の税金が還付・控除されます。また、寄附金の使い道を選べる自治体も多く、自分の寄附によって自治体が活性化する実感を持てる点も魅力の一つです。



石巻市・東松島市・女川町でもふるさと納税を受け付けています。普段確定申告をしない方でも簡単に税控除を受けられる制度もありますので、ぜひご検討をお願いいたします。

## ふるさと納税の流れ

## ① 控除上限額を調べる

ふるさと納税は、寄附額のうち2千円を超える部分について税の控除を受けることができますが、給与収入・家族構成のほか、医療費や住宅ローンの控除額などによって控除上限額が設定されます。上限を超えての寄附も可能ですが、超過した分は自己負担となります。

上限額を調べるには各社ふるさと納税サイトが用意しているシミュレーションが便利です。ただし、表示される金額はあくまで目安ですので注意が必要です。

## ② 申込み

自治体ごとに各社ふるさと納税サイトや紙の申込書など

を用意していますので、ご希望の方法でお申込みください。また、申込時に寄附金の使い道についてアンケートを採用する自治体が多く、寄附金を活用してほしい取組を選択できます。

## ③ 返礼品と受領証明書が届く

寄附の受付完了後、返礼品と「受領証明書」が届きます。確定申告を行う方は「受領証明書」を保管しておきます。

## ④ 控除のための申請をする

ふるさと納税は1月1日～12月31日で申込期間が区切られています。この間に行った寄附について「受領証明書」を添付して確定申告を行うと、所得税による還付と、寄附を行った翌年6月～翌々年5月の住民税控除を受けることができます。

確定申告しない方は、「ワンストップ特例制度」を利用できます。これは、「ふるさと納税以外で確定申告が必要ない給与所得者」であり、「1年間の寄附先が5自治体以内

である」方が対象の制度です。ワンストップ特例申請書と添付書類を寄附した自治体へ送付するだけで、翌年6月～翌々年5月の住民税が控除されます。

## 石巻市のふるさと納税

## ◎ 寄附金の使い道

石巻市へいただいた寄附金は、「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち」の実現のため、重点事業に活用させていただきます。お選びいただける使い道は「地域コミュニティ活動・防災・公共交通・震災伝承の推進」「環境保全や生活基盤の充実」「健康・福祉・医療の充実」「産業の振興」「教育文化の推進」



「行財政運営の推進」の6つで、その他に使い道を市長へお任せいただくことも可能です。子どもの未来づくり事業やマンガバスラッピング事業など、活気あふれる市となるよう様々な事業を実施しています。

## ◎ おすすめの返礼品紹介

石巻市は現在、300品ほどの返礼品を取り扱っています。

「白謙笹かまぼこ詰合せ」は、ご家庭で楽しむにも土産にもぴったりの詰合せです。金華山沖で獲れる魚介類の美味しさをそのままお届けする「石巻金華茶漬けシリーズ」は、ギフトセットのほか、たらこなどのセットも用意しています。また、クラフトビール「巻風エール」は、石巻市北上町産のホップを使用したこだわりのビールです。2016年に設立したイシノマキ・ファームが手がける、石巻市の新たな特産品です。



石巻市ふるさと納税 HP

ふるさと納税を通して、自然の恵み、言わずと知れた名品、新しい

く生まれた産品など、石巻市の様々な魅力を再認識していただけたと思います。

### ◎自治体からのメッセージ

これまで全国の皆様にご寄附いただき、石巻市の発展を支えていただきました。皆様のご期待に沿えるよう、これからも各種事業に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも石巻市を応援くださいますようお願いいたします。

### 東松島市のふるさと納税

#### ◎寄附金の使い道

東松島市では、魅力あるまちづくりの財源として有効に活用するために、5つの重点事業を掲げています。

#### 〈産業の活性化に関する事業〉

#### ◎おすすめの返礼品紹介

##### 〈牛たん〉

宮城県名物の「牛たん」を丁寧につけ込み、仕上げています。東松島市の返礼品の中でも、大変人気があります。

##### 〈牡蠣〉

奥松島の海は、牡蠣の生育に適した環境であり、全国の養殖地へ種牡蠣の出荷をしているほど良質な牡蠣となります。



#### 〈日本酒〉

「伯楽星」でお馴染みの新澤酒造店が醸す、東松島市酒米「蔵の華」を100%使用した純米大吟醸「想々kokyoo」が新たに誕生しました。その他、東松島市の矢本蔵で醸造した「浦霞」純米辛口も人気です。

#### 〈ブルーインパルス〉

東松島市は、東京オリンピック2020の際、東京上空を飛行したブルーインパルスの本拠地である航空自衛隊松島基地があり、さまざまなグッズが人気を集めています。

#### ◎自治体からのメッセージ

東松島市では、震災から11年目を迎え、復旧・復興と活気あるふるさと東松島市の発展を目指し、取り組んで参ります。



東松島市ふるさと納税HP

ました。これまで全国の皆様から頂戴した、ふるさと納税のご寄附は、教育や子育て、環境の充実、地元産業の発展など地方活性化に大きく寄与するところであります。引き続き東松島市へのご協力とご支援をお願いいたします。

### 女川町のふるさと納税

#### ◎寄附金の使い道

女川町では、頂いた寄附金の使い道として、4つの項目があります。一つは、自然景観の維持・再生事業です。こちらは、町花「桜」の植樹・管理、鳴り砂保全や遊歩道の整備等に活用させていただきます。二つ目は、活気あるまちづくり事業です。こちらは、各種イベント、子育て支援や健康づくり等に活用させていただきます。

三つ目は、文化・スポーツの振興事業です。こちらは、図書購入や各種スポーツ大会の支援等に活用させていただきます。最後は、その他ということで、使途制限なしのものとなり、まちづくり等に活用させていただきます。

ます。

### ◎おすすめの返礼品紹介

女川町の特産品と言えば、金華山沖漁場から水揚げされる豊富な海産物が魅力です。その中でも、より女川町を感じていただける返礼品をご紹介します。

イチオシは、「四季の返礼品」(寄附金額10万円以上)です。こちらは、季節ごとに旬の食材を4回に分けてお届けします。「生もの」と「加工品」の2種類をご用意しています。「生もの」では、春は貝柱が大きく甘みの特徴の「殻付き特大活ホタテ」20枚、夏は殻付きのままスプーンですくって食べることができる「お造りウニ」8〜10個、秋は脂がの



女川町ふるさと納税HP

り、活きのいい女川を代表する「生さんま」20〜25尾、冬は一度も卵を産んだことのないバージンオイスターと呼ばれる「殻付き牡蠣(姫ちゃんオイスター)」30〜35個をお送りさせていただきます。

※貝毒や不漁等により商品の発送ができない場合は、代替品を送付させていただきます。

その他にも、ホテルエルファロ宿泊券や体験ダイビングチケット、おかせいのお食事券等、女川町を満喫することが出来る返礼品もご用意しています。

#### ◎自治体からのメッセージ

女川町では、震災から11年が経ち、皆様から頂きましたご支援・ご協力により、復興事業もおおむね完了し、新たな街並みも、ほぼ完成いたしました。

故郷女川の再生に、これからも町民一丸となって邁進してまいります。引き続き女川町へのご協力とご支援をお願いいたします。



## 4年間を振り返って

東京鰐陵会前会長 佐藤悠(37回生)



## (1)はじめに

2017年(平成29年)11月12日の「第26回総会」で第8代会長に選任され、2021年(令和3年)11月の「書面総会」で2期4年の任期を終えました。

任期中、様々な課題にぶつかりましたが、とりわけ任期後半は新型コロナウイルスの感染拡大という初めての事態の中、文字通り手探状態で対応しなければなりませんでした。会長を務めた4年間を振り返ってみます。

## (2)総会

会長就任後初の「第27回総会」は2018年(平成30年)



第27回総会／講演する亀山前市長

11月11日、東京・霞が関ビルの東海大学校友会館で開かれ、120人が参加しました。総会は3部構成で、第2部では当時の石巻市長・亀山紘氏(33回生)が東日本大震災から7年8か月を経た石巻の「復興状況と残された課題」について講演しました。亀山氏は大震災の翌年の「第22回総会」以来2回目の講演です。この中で亀山氏は「復興は道半ば。少子高齢化の中で、

継続的な発展が可能なまちづくり」をどう進めるかが課題だ。交流人口の拡大などを図ると共に、中心市街地に行政・医療・福祉及び交流の拠点の整備を進め、地域全体で支え合うまちづくりを進めたい」と述べました。

総会では回生ごとにテーブルが配置され、同期生や中学校の先輩・後輩、部活の仲間などが和気あいあいの雰囲気の中で語らいの輪が広がりました。

「第28回総会」は2019年(令和元年)11月10日、同じ東京・霞が関ビルの東海大学校友会館で開かれ125人が参加しました。

第2部では、日本で初めて開催されたラグビーワールドカップに因んで伊藤隆氏(46回生)が「ラグビー概況」と題して講演しました。

伊藤氏は現役時代、早稲田大学主将や全日本代表として活躍。現在は関東ラグビー協会の理事を務めており、豊富なラグビー経験に裏打ちされた興味深い「ラグビー」の話を話してもらいました。

また首藤光春氏(30回生)が作詞した「ラグビー賛歌」



第27回総会／講演会でラグビー賛歌を披露

が木村長人氏(30回生)のサックス演奏とともに披露され、ラグビーで盛り上がった令和元年に相応しいこの年の講演会になりました。

任期中半の2年間は諸先輩の助言にも支えられ概ね順調な運営ができたと思います。

## (3)初の総会中止

任期後半の最大の課題は、新型コロナウイルス感染拡大への対応でした。

日本では2020年(令和2年)3月下旬から感染者が急増。4月7日には東京など首都圏の1都3県と大阪、兵庫、福岡の7都府県に初め

て「緊急事態宣言」が出されました。この「第1波」は、5月には収束に向いましたが、夏には「第2波」に見舞われ、冬には「第3波」の可能性が高いと多くの専門家から指摘されました。

執行部では、WEB会議で理事会と総会の開催可否について議論を重ねました。その結果、「総会で3密を避けることは困難で、高齢者が多い総会をリスクが高い時期に開催することは止め、来年、安全・安心な状況で開催するのが賢明」ということで意見が一致しました。

そして6月28日、「2020年9月の理事会と11月の総会の中止」を正式に決定しました。総会の中止は東京鰐陵会史上、初めてのことです。

この決定にあたっては会場に予定していた東海大学校友会館から「7月末で営業を終了、閉館する」という突然の通知が届いたことも総会を中止する判断材料の一つになりました。「総会中止の告知」は会報誌18号の1面に急遽掲載しました。

東京鰐陵会は母校が火災で校舎の一部が焼失した援助



総会の毎年開催がスタートした第23回総会

金の募集を目的に、1959年（昭和34年）5月、設立総会が開かれました。そして2014年（平成26年）の「第23回総会」からは隔年開催から毎年開催に踏み切るなど28回の総会を重ねてきました。

それだけに総会の中止は、文字通り苦渋の決定でしたが、「総会で集団感染が発生する事態は何としても避けたい」という強い決意のもと、中止を決断しました。

#### (4) 書面総会

新型コロナウイルスは、その後も新規陽性者が急激に増える感染の「波」を繰り返し、2021年7月からは「第5

波」の流行となりました。執行部では総会開催の可否について議論を重ねた結果、「今後の感染状況の見通しを立てることは困難」との結論に達しました。

これをうけて、8月7日の運営委員会に「2021年の総会は郵送による『書面総会』に切り替える」ことを提案、全会一致で了承されました。いわゆる『リアル総会』の中止は2年連続で、理事会の中止も決めました。

『書面総会』については、2020年の総会が中止されて以降、万が一の事態に備えて事務局体制を強化し、運営手順の検討や会則の改定案の準備などを進めてきました。10月上旬には、役員人事や2年分の決算報告など重要事項の賛否を問う『書面総会』の関係書類を全会員に送付。決議事項は11月19日の判定委員会を経て原案通り承認され12月上旬、ホームページに結果が発表されました。

#### (5) 会報誌のリニューアル

4年の任期の中で最も成果が上がった取り組みは会報誌のリニューアルです。

会報誌『東京鰐陵』の創刊は第2代生江義男会長時代の高橋良事務局長が「会員相互の親睦をより深めたい」との発想から創刊されました。当初の2年間で4号まで発行されて以降は、2〜3年に1回程度の発行となりましたが、2014年（平成26年）の第12号からは毎年発行となり、会報の充実が図られました。

また、財政面ではそれまで企業や個人の広告収入で大部分を賄っていましたが、「総会の毎年開催」や「運営資金の要請」などの増収に取り組みました。その結果、総会の参加者は増えましたが、会報紙発行の経費負担は依然として大きく、「このままでは財政的に行き詰まりかねない」とする声が出はじめました。

そこで新体制が発足したのを機に、ワーキンググループを立ち上げて会報のあり方を検討。2018年（平成30年）12月の運営委員会で「リニューアル案」が全会一致で承認されました。

編集方針は「総会の模様を丁寧に伝えること」を踏襲し「高品質を維持」しながら「経費の削減」を目指すこと



新会報誌

としました。その後ワーキンググループのメンバーを2人増やし、加藤事務局長（現会長）を中心に2019年1月から制作作業を開始しました。新会報誌はこれまでのタブロイド版・モノクロ形式から中綴じ冊子、A4版・カラー印刷、90kgコート紙を採用し、従来と同様「組版形式」を継続していくことにしました。

紙面の内容は継承性を重視し、「総会の詳しい模様」に加えて「特別寄稿」、「傘寿の集い」など、会員の活動状況を丹念に取り上げるよう心がけました。そして計画通り2019年8月の発行に漕ぎつけることができました。

発行経費については従来の50パーセント近くを削減でき、会の「収支改善」に貢献することができました。

**(6) 執行部の強化**

コロナの感染拡大という難問を何とか乗り越えることが出来た理由は幾つかありますが、執行部体制を7人に強化しフルに活動したことが大きな力になったと考えています。コロナの蔓延でリアルな会合が出来なくなったことからWEBの執行部会を頻繁に開催。総会開催の可否について詰めた検討を行い、執行部としての方針を固めることが出来たほか、『書面総会』の準備などにも早くから取り組むことができました。

#### (7) おわりに

総会は長老から若手までが世代を越えて一堂に会し交流する貴重な場です。同じ学び舎に集った仲間が顔を合わせる広場を確保し続けるには、会の永続的な発展が欠かせません。そのためには若手会員を増やし、会の「基礎体力」を高めることがいかに大切かを、4年の任期を通じて改めて痛感しました。



## 五十年間の海外での生活・活動を振り返る 館澤佑(38回生)

私に「輪廻転生」という言葉の本質を実感させてくれたのは、発足したばかりの青年海外協力隊(現・JICA)の隊員としてインド・ニューデリー市の養鶏試験場に赴任(1970年)後、半年ほどたった頃であった。暑いインドの生活にも慣れ、プロジェクトの一つであった親鶏(種鶏)を選抜するための基礎ヒナを育て始めた矢先に起きた事件での出来事である。

試験場の下働きをしている白髪交じりの初老に「サブ(旦那)、あなたがこの犬を殺したら、あなたの来世は犬ですよ」私の覚えてたのヒンディ語力では、たぶんそうであろうと解釈するのがやっとであった。

実は、前日の夜にヒナの飼育室の金網を破り、飼育中のヒナを殺した憎き野良犬、罌で捕らえたばかりで足に怪我をしていてその犬の処分に

ついて、関係者で話し合っていた時のことである。私は当然ながら殺処分するものと考えていたので、彼の言っている真意を理解できないでいた。同僚でこの養鶏試験場に勤務する、ターバンを巻いた若き獣医さん(シーク族)が英和辞典を引いてくれ、彼の言っていることは「ヒンズー教の教えの中でも重要な Reincarnation (輪廻転生)である」と教えてくれたのであった。

この老人はヒンズー教のカースト制度の一番下(シュードラ)であることや子供のころは貧しく、小学校にも通えていなかったことなどを知ったのは、この事件に遭遇したしばらく後のことである。自然に身につけたであろう彼のヒンズー教への信仰心のおかげで、実体験をもつて「輪廻転生」を教えてもらったのであった。

東インド会社のインドへの進出から始まったイギリスの長い統治は、第二次世界大戦後の一九四七年まで続いた。独立からまだ二十数年しか経過していないこの頃のインドは、貧富の格差がいたるところに見られ、識字率は五十%程度であろうと言われていた。その頃の人口は四億五千万人、食糧難が続いていた時代でもあった。

首相のインデラ・ガンジー(ネール首相の娘)は、「緑の革命」という政策を掲げ、ヒマラヤ山脈から流れ出るガンジス川の支流から灌漑用水を引き込み、井戸を掘り、コメや麦を増産、そして畜産振興、特に乳牛と養鶏(採卵鶏とブロイラー)に力を注いでいた。

仲間の隊員には、日本式の稲作栽培技術の普及、牛の餌となる牧草栽培と貯蔵方法、ヒナの雌雄を鑑別する専門家、獣医師、農業関係以外にも看護師、日本語の先生、様々な

ジャンルの技能を持った隊員(総勢七十人ほど)がおり、インド全土に派遣されていた。

インデラ・ガンジー首相は、自らも首相官邸の庭に鶏小屋を作り、十数羽の採卵鶏を飼っていた。首相官邸で飼育されている鶏を定期的に見て回るのが我々の養鶏試験場の役目でもあった。二年間の養鶏試験場での奉仕中、十数回にわたり官邸の鶏の定期健診に行く機会があった。時には庭を散歩するガンジー首相を見かけることもあったが、残念ながらお話をする機会には恵まれなかった。

ガンジー政策の「緑の革命」は成功し、高い評価を受けている。インドで生産されるコメの生産量はIR8種の普及やハイブリット・ライスの開発も相まって、中国に次ぎ世界第二位、麦の生産も灌漑水路の設置、化学肥料、農薬の利用も寄与し、飛

躍的に伸び中国に次いで第二位、綿花は遺伝子組み換え品種のおかげで、同じく第二位の生産国となっている。今や、十四億人に達する国民を養うに十分な食糧が国内生産で賄えている。コメ・麦は完全自給、育種改良によつて飼料用トウモロコシの増産に成功したことで、畜産物(ミルク・マトン・鶏肉&卵など)の生産も向上し、ほぼ一〇〇%に近い自給率を維持している。

インドでの二年間の奉仕活動を終え帰国(1972年)、世界最大の穀物種子会社(パイオニアハイブリッドインターナショナル)の合併会社に勤めることになった。アメリカではハイブリットコーン(飼料用のトウモロコシ)などの栽培拡大で穀物の増産が進み、その消費先として種子会社はこぞって経済動物(ニワトリや豚)の育種改良を推し進め、日本および東南アジア諸国にも近代的なアメリカ式畜産産業システムの普及を始めていたのだ。

当時、東南アジアでの生活を経験した者が少なかったこ

ともあり、私が台湾・フィリピン・インドネシア・タイの四ヶ国を担当することになり、一年の半分程それらの国に出張し、アメリカ式の企業養鶏システムの普及にあたった。

若くて元氣、独身でもあったことから、新しい種鶏・孵化場を立ち上げる時には、農場内の宿舍に泊まり込む生活が続くこともあった。それぞれの国の人たちと現地の食事を取り、現地の酒を飲み、そんな生活が二か月間に及ぶこともあったが、やり甲斐のある楽しものであった。日本を出国する際には狂犬病・破傷風・現地で感染する可能性のある風土病に対するあらゆるワクチンを接種し、その接種済み証明書であるイエローカードを持参しての生活であり、マラリアの予防薬・抗菌剤や毒掃丸は旅の必需品であった。

戦争の悲惨さに遭遇したこともあった。カンボジアのプノンペンが陥落する寸前（1975年）、タイとカンボジアの国境付近の種鶏場を訪れていた時だった。朝方、泊っている宿の道路側が騒がしいので、カーテン越し

にそと外を覗いて見てみると、カンボジアからの避難民が列をなして逃げてきていたのだった。皆、着の身着のままの姿であった。

パイオニア社（現コルトラバ）のフィリピン・ミンダナオ島のジェネラルサントス市にあるトウモロコシの育種研究所に駐在していた頃は、マルコス政府軍とモロ解放軍との戦争の真つ最中であつた。最前線は市内からほぼ二〇キロ先、毎日のように大砲の音が響いていた。ジェネラルサントス市の近郊にはドールが経営する八〇〇〇ヘクタールに及ぶパイナップル、四〇〇〇ヘクタールのバナナ栽培のファンデーションがあり、彼らの農園の敷地内にはセスナ機が発着できる滑走路があり、モロ解放軍が侵入してきた場合には、即脱出できるようになっていた。アメリカ企業の危機管理の凄さを実感させられた。

その町に滞在していた時はマルコス政府軍に守られていたことを実感していた。その後、マニラ経由で日本に帰国した日（1983年8月21

日）、私が乗った便がマニラ国際空港から成田に向かつて飛び立った直後に、ベニグノ・アキノ大統領候補がその空港で射殺されたとのニュースを成田到着後に知り、独裁政治の恐ろしさとも怒りを感じざるを得なかった。

その後も鶏のワクチンの共同開発や、海外から導入する飼料用トウモロコシの品種開発のために、東南アジアだけでなく、アメリカやヨーロッパ、そしてオーストラリアなどの提携先を訪問する機会が続いた。これまでに訪れた国は四〇数ヶ国、そのほとんどが仕事がらみの訪問だったため、名所旧跡、観光地等を訪れる機会はほぼ皆無であつた。移動日などのたまの休日に訪れることができたのは、その町にあった博物館や美術館を短時間でせかせかと見て回る程度しかできなかったのであつた。我々の育ってきた当時の社会環境、会社のルールからしても仕方がなかったことであつた。

インドから始まった五十年に及ぶ海外との付き合いの中に

で、それぞれの国の文化、宗教観や日々進歩する技術革新・情報の修得のすべてにおいて、若い時に言語に対するバリアを取り除けていたことが基になっている気がしている。その結果において、数えきれないほどの海外の素晴らしい人達と知り合えたことが私の財産と言える。

鰐陵生にも留学のチャンスがあれば積極的に、若い卒業生には海外駐在のチャンスを出すことなく、自ら進んで経験を積んでほしいと思っている。

数年前に七五歳で現役をリタイアする宣言をした。その時期が近づいてきている。これまで蓄積してきたユニークな経験、そして人脈をマニユアル化で育ってきた後継者たちに継承することの難しさを痛感しながらの毎日だ。もう、長期の海外出張や、コロナ禍で始まった長時間に及ぶウェブ会議に対応できる体力がなくなってきたことも実感している。

これまででは家庭を顧みず、

子育ても任せきり、留守がたった生活で苦勞をさせた家内への償いのためにも、これまでにまだ行く機会のなかった、ギリシャや南イタリア、今はちよつと物騒な東欧の国々の名所旧跡を巡り、オーロラ観察などを楽しみにしているところだ。

#### 【プロフィール】

館澤佑（タテサワユウ）

#### 【略歴】

1970年から2年間、海外青年協力隊員（現JICA）としてインド・ニューデリー政府の養鶏試験場において採卵鶏の育種改良及び飼育管理技術の普及活動に参加

- 1 帰国後、採卵鶏の原種鶏、種鶏の販売会社、ゲンコーポレーションに25年間在籍。主に、鶏のワクチン・卵黄抗体製品等の開発、東南アジアへの種鶏販売と技術サービス、及び米国パイオニア社の日本を含めた東南アジアにおけるトウモロコシ品種開発などを担当
- 2 1997年から6年間、シンジェンタシード株式会社、日本法人代表

#### 【現職】

- 3 2003年、日本バイオロジカルズ株式会社に鶏のワクチン事業に参画。エグゼクティブ・マーケティングコーディネーターとして今日に至る
- 4 2006年、鶏用ワクチン、種子、卵黄抗体製品、プロバイオテックスに関するコンサルティング業務を行うYJSMアソシエーツ株式会社を設立、代表取締役会長

- 5 2016年、JSeed株式会社を設立、代表取締役 以上



## 自ら進運を開拓すべし

亀山裕昭(70回生)

石高を卒業して今年でちょうど25年になりました。

今現在、志半ばといったところではありますが、徐々にこの数年で路が拓け始めてきたように思います。

高校3年間は、顧問の鈴木修一先生のもとで美術部に在籍して、絵を描くという楽しさに出会いました。大袈裟に言うと人生の礎のような3年間であったように思います。



「帰路」 油彩 M80 2006年 第70回河北美術展文部科学大臣賞受賞  
～母親の実家があった 旧小牛田町の風景

助けもあって今年、美術家として独立する事が出来ました。4月1日、6月23日には3ヶ月間という会期で森の美術館(流山)でこの20年間の軌跡となる個展を開催しました。合わせて初画集「致景——(美術年鑑社)」を刊行する事が出来、一つの夢を叶える事が出来ました。来年6月には仙台三越で2回目の個展も予定しております。

ひたすら毎日美術室で描いていました。今はもう無いと思いますが、当時は和室のよくな部屋がありました。(笑)その後大学、大学院を経て画家を志して上京し、奨学金の返済もあってTVの大道具会社で15年勤めました。

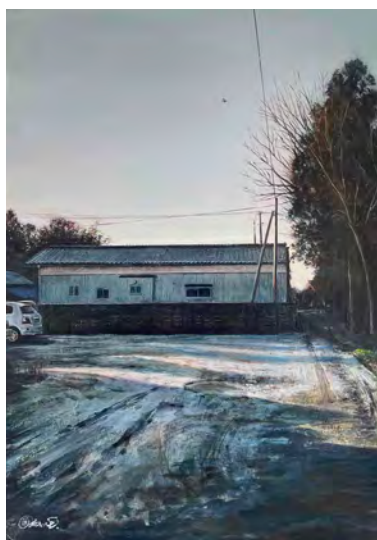
その間も絵を描く事だけは必死に続けました。その過程でたくさんの人たちと出会いました。そしてその人たちの

もし仮に神様に、25年前に戻してやろうと言われたとしても、おそらくまた同じような生き方をするように思います。それはつまり悔いのない25年間であったのだろうと。「自ら進運を開拓すべし」この校訓の真意はおそらく「続ける」ということなんだと思います。

あと何年生きるかわからないですが、日々やるべきことをこなして明日に繋がればと思います。それが次の25年になってくれたら幸いです。そして画家としてこの世を退場することができたのなら本望です。



「少年の海」 油彩 P15 2010年  
～震災以前の竹の浦(女川町)の風景



「透明」 油彩 P8 2009年  
～実家(渡波 根岸)の目の前の風景



亀山裕昭展  
—致景— 2022.4.1～6.26 ポスター



「幸福論」 油彩 M20 2021年  
～実家(渡波 根岸)から見た石巻線

# いつの間にか卒寿を迎えて

亀山 兵吉 (23 回生)

鰐陵を巣立って七十有余年、いつの間にか卒寿を迎えることとなりました。

我々二十三回生は、この頃の同世代同様、進学する者、就職する者誰もが荒廃した国土を前に、なんとか生きねばと必死にもがいていたものでした。

朝鮮戦争によって経済が復興し始め、やがて「戦争には負けがアメリカに追いつけ追い越せ」を合言葉に高度成長へとなだれ込み、生活の基盤を作り上げたのです。

商社米国丸紅の副社長となった渋谷善夫君（故人）や建材業で名を成した越後康夫君（現在療養中）を始め、海上自衛隊の潜水艦隊司令官を務めた内海久君（呉で健在）、道路公団理事を務めた高橋寿



卒業時頂いたメダル

雄君（故人）、金融界に進出して銀行支店長を務めた荒川竹男君（健在）、税理士現職の野中浩君（健在）など、多士済々であります。

育英会に学資債務のあったために進学を諦めた私は、国税庁の税務講習所に進み、税務署に十年勤めて民間に転出しました。

その後事業に失敗して、同期生から「あいつは行方知れずで死んだらしい」と噂され、同窓会に顔を出すことができたのは、食品会社の役員として生活が安定した昭和五十四年の石巻リバーサイドホテルでの事です。

いささか面映いのですが、高校の卒業式で東大に進学した佐藤恒寿君と二人でよく頑張ったと校長先生に褒められた事は嬉しい思い出となっています。聞くところによれば、現在、石巻高校では、部活動で顕著な成

績を上げた生徒が鰐陵賞として表彰されているそうです。

東京での同窓会は、高橋寿雄君はじめ渋谷善夫君、越後康夫君、荒川竹男君等によって支えられ、三年前までは、豊島剛君の計らいで日本エナジーの六本木倶楽部で開催されてきましたが、物故者が増え始めたことや健康上の理由、更には新型コロナウイルスなどで開催できなくなったのが心残りです。

『生きている限り青春だ!!』この鰐陵スローガンは今も私を勇気づけてくれます。



東京二十三回生の集まり

## 《会員からのお便り》近況ハガキ(各回生)

### 【19回生〜27回生】

#### 村井昭郎(19回生)

コロナで大事な老後余生がメチャクチャです。脚腰が極端に弱くなって歩行に難儀しています。気持だけは若くもって元気にしています。

#### 安住重一(20回生)

我が生涯もあとわずかの感。小生ナマケモノで努力なしでも経済的にも又妻や家族にも恵まれた。人間には運・不運があるものですね。

#### 櫻田 巖(21回生)

幹事の皆様ご苦勞様です。

#### 亀山 兵吉(23回生)

おかげ様にて元気で89才の誕生日を迎えることが出来ました。老いて益々青春！と頑張っています。

#### 田代善郎(23回生)

戦争末期、旧制石巻中学から高校へと。当初は2時間の徒歩通学もした。あの長く畝った古色たる木造校舎、白亜の

講堂、教練も受けた柔道場等が想い浮かびます。そして今尚変わらぬ母校愛、郷土愛を続ける後輩諸氏に只感謝の念。

#### 野中 浩(23回生)

90才を目前に、医大で背中を手術しました。これであと10年は生き延びるのかどうか。「九十前 抜糸終りし 末の秋 尋子」

#### 佐藤允俊(24回生)

緊急事態宣言が解除され、チリ地震津波で被害を受け、高台に移転したにも関わらず、再び3・11で一家全員が被災した29回生三浦利生君の10年忌をやつと開きたいと、鰐陵バレーボールクラブからTELあり、11月に石巻へ行く予定です。

#### 阿部 剛(25回生)

緊急事態宣言が解除になったとはいえ、まだまだ不安です。しかし少しずつ近くの友人と少人数で一杯やったり、好きな囲碁の会所に出かけるようになりました。早く総会を再



開し皆で一杯やりたいですネ。

### 武山 勝(25回生)

コロナ禍での会の運営ご苦労様です。感染者数は減少傾向とはいえ、相変わらずの蟄居生活が続いており、足腰は劣化傾向にあります。来年は総会で皆様にお会い出来まうに。

### 津田健三(25回生)

津田工業(株)第56期進行中です。私は来年は88才になります。今は株も代表権も全て伴に譲り、会長として毎日会社に行っております。一番の幸せは、毎日行く所があることです。

### 山下文祥(25回生)

舌がんの手術をして無事4年が経過しました。会話に不便を感じますが、再発や転移の徴候もなく、安心して普通の生活を送っています。毎日約5千歩の散歩を楽しみ、歩ける喜びを感じています。老化防止に詩吟を始めて7年になりました。パソコンが大好きです。(元国税・税理士)

### 三宅宗議(26回生)

「書面総会」はやっぱ寂しいですね。「東京鰐陵」の新しい企画、今後に期待したい。編集技術もアップしたようです。関係の皆様ありがとうございます。追って小文を送ります。

### 奥田貞幸(27回生)

朝夕の子犬との散歩が日課です。

### 徳江 明(27回生)

ボランテアとして高齢者が抱える相続・遺言・成年後見に係る問題解決のお手伝いをしています。又老人会運営担当者の立場で、多くの会員が喜んで行事に参加できるように努めています。

### 菅井武彦(27回生)

隣人と対話したり、そして薬を飲んで体調維持に努力している毎日です。

### 平山貞夫(27回生)

いつも楽しく、そしてたのしみしております。感謝のみです。ありがとうございます。私の力になっているのは①北上川②日和山③鰐陵の三つです。2022年1月85歳と

り、石巻に戻って「子供とシニアの私費食堂」をしたいなと此頃考えている事です。子供の頃の空腹を何とか出来ないかと思うこのごろです。(石巻中学校卒・サッカー部・会社相談役)

### 【28回生〜32回生】

### 木村莞爾(29回生)

会の維持発展にご尽力いただいている役員の皆様に感謝申し上げます。老妻と2人、やまいとほどほどにつき合いながら、3度のめしはいただいております。

### 今野勝幸(29回生)

コロナのお陰で1年10カ月も自粛生活を余儀なくされてきました。やっと街中の飲食店も人の往来も出てきましたが、まだ油断ができない。毎日が、老々介護に追われて何とか頑張つてやっております。

### 守屋晃治(29回生)

茅ヶ崎の海岸を散歩します。石巻の日和山から見た北上川河口や雲雀野海岸を思い出します。もちろん級友たちのことも。

### 木村長人(30回生)

2ヶ月腰痛のためゴルフを休んだ以外特に生活の変化なく、健康づくり中心の日々です。幸い、コロナが小康状態なので、この秋は墓参りを兼ねて「ふるさと」を訪ねたいなあ、と思つて居るところです。

### 佐々木 努(30回生)

過日には市のボランテア組織に参加し終日環境改善活動に力を捧げております。

### 蜂谷国彦(30回生)

新型コロナウイルスののために、学校の同窓会をはじめとして各種会合が全くなくなり、旧交が途絶えていますが、早く収束し、安心して旧交を温める機会や墓参の帰省が出来る日が来ることを願っています。

### 首藤光春(30回生)

新会長・加藤君以下役員一同の手腕に大いなる期待をしています。

す。ONE TEAM 鰐陵、一致団結し、「親睦・母校への寄与」というNICE TRY!を結実させよう。

### 松田勝治(30回生)

コロナもだいぶ収まり安心して居ます。そろそろ外出しようと思つて居ます。

### 櫻井勝夫(31回生)

自治会からの依頼で、登下校の交通整理や防犯パトロール等のボランテア活動で子供たちから元気を貰っています。



ささえあいセンター

**猪俣 斌(32回生)**

老いを感じながらも今のところ元気に過ごしております。

**高橋勝彦(32回生)**

歩行困難になり、介護老人保健施設でリハビリをやっています。

**【33回生〜37回生】****熊谷正茂(33回生)**

33回生の皆様、今回の東京鰐陵総会は節目の会となります。毎回有意義な会となっております。2次会は別席での33回生会となっております。一人でも多くの参加を楽しみにしています。

**片岡敏光(36回生)**

後期高齢者の仲間入りをしましたが、生涯現役を目指して知財創造コンサルティングと若者の育成に注力しております。誰でも気軽にアイデアを創出できるようにと、「グーパチヨキ発想」を考え、日本創造学会の研究大会で発表したりしております。

**安住知彦(37回生)**

会長佐藤君、副会長丹野君、

境田君、大変ご苦労さまでした。22年度の開催を楽しみにしております。

**阿部 貢(37回生)**

体力維持の為、スポーツや散歩をして過ごしています。

**遠藤信雄(37回生)**

近況です。

◎プレゼントされたもの↓  
FITBIT↓スマホと同期し健康管理(される)◎買ったもの↓  
1冊デスクライト↓在宅勤務に必須◎買ったもの↓  
2冊骨振動スマホ↓優れものの、PCでリモート会議も快適◎買わなかったもの↓  
ネクタイ↓在宅勤務が普通になった◎替えたもの↓  
メガネ↓近視が弱くなり乱視が強くなった◎益々嫌いになったもの↓  
時差↓在宅勤務で始業、終業が更に曖昧に◎経験したこと↓  
1冊自主隔離↓  
ダツカのホテルで2週間、自宅で2×2週間◎経験したこと↓  
2冊バン格拉デシユ料理↓  
ほぼカレーだった◎悲しかったこと↓  
2級友の死↓  
4ヶ月前別れを告げるメールがあった◎うれしかったこと↓  
講座機関誌に写真掲載↓  
雀の親子がステキ

だと

**岡部博行(37回生)**

元気で過ごしています。100カ国訪問が実現できずにいます。昨年1月に2度目のマチュピチュと初めてのボリビア・ウユニ塩湖に行き、ギリギリに帰国できました。約85ヶ国の訪問をしました。海外旅行はしばらく難しいと思っています。「おかえりモネ」は気象予報士の活躍の話ですが、機会があれば気象予報士がどのようにしてできたのかの話をしたいと思っています。当時の当事者なので。

**境田憲男(37回生)**

なんとかコロナをすり抜けて元気にしております。早く鰐陵会が開催できるとよいですね。その時は皆で又、元氣にお会いしましょう。

**丹野静也(37回生)**

令和3年はコロナ禍の中、座骨神経痛に始まり腹部大動脈瘤、心臓カテーテル手術と続き、私にとっては辛ドイ1年でしたが、何とか75歳のハードルを越えた感じもしています。次は5年刻みの80歳

まで元気に長生きを目標に、取敢えず令和4年は久し振りに旧友との再会の日が来るのを楽しみにしています。

**山下政志(37回生)**

田舎暮らしを始めてから、東京に行く事もなくなり、すっかり田舎になじんで居ます。のんびり自然の中で自由気ままに暮らしています。田舎暮らしも6年目に入ります。おかげさまでラグビー部の阿部君から高校以来の連絡がありました。皆様もお元気で！

**【38回生〜42回生】****安住 豊(38回生)**

コロナ禍で行動が制限されストレスは募りましたが、読書・散歩・安酒の晩酌という生活もこれはこれで有りかなという昨今です。しかし気兼ねなく友人と会ったり、スキーや旅行に出かけたいものです。

**阿部盛行(38回生)**

柔道部在籍中は万年補欠の補欠選手で、一度だけ新人戦の個人戦に出場、判定負けでした。長女の子供、私の孫は3人、石高卒業生&在校生です。長男はボート部。インターハイ新人戦で5位入賞。次男は卓球部で県大会2位。長女は令和3年に入学しボート部へ。インターハイに出場しパリオリンピックを目指しています。



石巻魚市場



質実剛健・進取独創を地で  
行っており、小生とは全く趣  
を異にしております。なお3  
人共北村泰秀君の法山寺幼稚  
園の卒業生でもあります。

### 熊谷勝義(38回生)

鴨長明の方丈記を口ずさみな  
がら北上川のほとりを歩い  
てみたい。ゆく川の流れは  
絶えずして、しかも、もとの  
水にあらず。淀みに浮ぶうた  
かたは、かつ消えかつ結びて、  
久しくとどまりたるためしな  
し。

### 小山慶孝(38回生)

親の青春を振り返る旅、自然  
秘湯を求める旅、日本全県踏  
破の旅、「今」歴史探索の旅へ  
…。ゆつくりゆつたり時を噛  
み締めて旅をしていきます。

### 古川伸吉(38回生)

会の益々のご発展を祈念いた  
しております。

### 渡部正昭(38回生)

小生相変わらず元気です!!コ  
ロナ新規感染者数が急激に減  
少し、ホッとしてはいますが、  
次に来るかもしれない第六  
波にも呑み込まれぬ様、引続

きの自粛生活中です。そして、  
コロナ前に計画した山登りと  
四国遍路のお礼参りが、一日  
も早く叶う様、日課の体力維  
持を心掛けています。

### 岩崎宏幸(39回生)

ご案内ご連絡いつもありがと  
うございます。コロナ感染者  
数も減少傾向ですが、果して  
と疑問に思い、これからの将  
来を懸念する日々です。2年  
前の普通の生活に戻る日を  
期待しています。

### 熊谷道夫(39回生)

コロナの早期収束で普通の生  
活に戻りたいと思っている毎  
日です。

### 畠山廣造(39回生)

前回の近況報告のときに、間  
違って42回生と書きました。  
正しくは39回生です。

### 岩崎久仁夫(40回生)

最近になって感染者の数がだ  
いぶ少なくなってきた(令和3年10月現在)。リバウ  
ンドが無く来年の総会が無事  
に開催されることを祈ってま  
す。

### 斉藤紀夫(40回生)

来年は是非皆様とお会いした  
いものです。

### 高橋憲司(40回生)

ホームベーカーリーでパンを焼  
いたり、ジャムを作ったりし  
在宅生活を過ごす近頃です。

### 榛澤修三(40回生)

残念ながら29回の総会が「書  
面総会」となりました。新体  
制での30回総会楽しみにして  
います。

### 渡辺総一(40回生)

ちょうど一年前石巻で「共に  
生きるために」という絵画展  
を開かせていただきました。  
石高・石中の同期の皆さまの  
温かいご支援と教会の皆様の  
ご奉仕によって、ナリサワ・  
ギャラリーで大勢の方々に見  
ていただくことができました。  
その後いつも思い出しては、  
絵を介しての皆様との心の交  
流に感謝しております。

### 【43回生〜90回生】

### 伊藤純一(43回生)

コロナ禍に悩むことが多い  
日々ですが、ピンチをチャン

スにとスポーツジムに通って、  
必死に抵抗しています。早く  
皆さんと楽しい時間を過ごし  
たいと願っています。

### 小田島孝好(43回生)

2021年10月、緊急事態  
宣言が明け、20ヶ月ぶりにか  
つての悪仲間7人とカラオ  
ケ店で懇親会を実施しまし  
た。約4時間滞在しましたが、  
カラオケ歌唱は

ZEROでした。  
全員が久しぶりの  
近況報告などの会  
話を楽しんでいま  
した。やっぱり面  
と向かって話合い  
できるのはいいで  
すね。

### 佐藤雅洋(43回生)

東京鰐陵会がコロ  
ナ禍により2年間  
中止になっており  
ます。そうした中、  
従前の参加を機に  
音信不通の旧友に  
巡り合ったりお互  
いのメールやライ  
ンアカウントを交  
換して近況などを  
報告しています。

ようやくコロナ禍も感染者が  
激減し、ウイズコロナの新た  
な生活様式による日常が始ま  
る気配です。第6波の襲来や  
ブースター接種のワクチン3  
回投与も取りざたされていま  
す。来年こそは、東京鰐陵会  
で懐かしい友の元気な姿にお  
目にかかることを楽しみに致  
しております。



震災遺構門脇小学校

**佐々木哲雄(43回生)**

来年で70歳となります。健康に守られて家族4人共に元気に過ごしています。以前、東京都で開催の鰐陵会に参加した時に高校時代の先輩、同級生に会えて愉しかった事を思い出します。

**佐藤休三(43回生)**

コロナ禍であっても趣味を楽しむことができました。趣味は、山歩き、川釣り、ウクレレ演奏、ゴルフです。(飯野川中学卒・柔道部・教諭)

**矢野光雄(43回生)**

一昨年、昨年はがんとの闘いでした。今年に入り、体力を取り戻し仕事もフルタイムでやれるまでになりました。又、皆様と会えるのを楽しみにしております。自宅を水戸から千葉の海浜幕張に引越しました。

**阿部順市(46回生)**

いつも会報誌は楽しみに読んでおります。

**伊藤 隆(46回生)**

ラグビー協会の仕事を続けております。11月末石高ラグ

ビー部で講演します。

**伊藤哲郎(46回生)**

最近ノンアル生活になり、特にドイツ製の脱アルコールビアの美味しさ、素晴らしさに感動しています。コロナ禍の中で、定年退職後、ここ数年になりますが、オンラインで英語の資格指導をしながら充実した時間を過ごしています。

**及川和彦(47回生)**

ここ数年、地元のボランティア団体で活動しています。特に力を入れているのが、「ホタル復活取り組み」です。産卵から幼虫の飼育を行い、3月に水路に放流しています。5月末に飛びます。まだ自然の生育サイクルは実現できていないのですが、あと数年で何とか達成させたく取り組んでいます。

**明石和彦(48回生)**

現在、ロシアNIS諸国との経済交流事業に携っています。領土交渉は中々進展しませんが、コロナ禍の下、リモートによる交流事業を地道に進めているところです。(豊里中学校卒・元経済産業省・筋卜

レ、ウォーキング)

**三宅幸次郎(51回生)**

60歳を契機に、これまでの経験を生かし企業経営者向けに成功報酬型のITコスト削減コンサルサービスを始めました。話は変わりますが、東京在住の51回生と30年以上続けたきた同窓会を2022年は再開したいと切に願っております。(湊中学校卒・剣道部・(株)野村総合研究所・ゴルフ)

**星野知倫(56回生)**

来年こそは、通常通りの総会開催ができることを祈ります。

**飯坂正弘(59回生)**

そろそろ東北へ戻ろうか考え中です。

**渡邊公威(64回生)**

BSテレ東「THE名門校」石巻高校の回に先輩方に並び、録画にて出演させて頂きました。貴重な経験を本当にありがとうございました。また、本年11月開催のテクノロジーサイタルに、鰐陵会のご後援を頂戴し、心強く存じます。今後共、どうぞよろしくお願

い致します。

**木村祐介(75回生)**

変わらず元気に過ごしております。なかなか石巻に帰省できておりませんが、健康であればいつか機会はやってくると思いますので、元気を維持していきたいです。



まぎあーとテラス

**《挿絵写真について》**

挿絵写真は石巻市より御提供いただきました。御協力に感謝とともに心より御礼を申し上げます。



## 特集3 母校は今

## 「ウイズコロナの学校生活」(学校の様子)

鰐陵同窓会事務局長 二階堂 守宏(57回生)

令和3年度もコロナに振り回された1年間でしたが、感染対策等の工夫を凝らしながら行事を行い、ウイズコロナへと上手くシフトできた1年間だったと思います。ほとんどの行事が中止となった昨年度と比較して、生徒も充実した学校生活だったと思います。

## ◇主な学校行事

4月8日に始業式・入学式は教室にて放送で実施しました。1年生の入学後は恒例の対面式でしたが、上級生のおどしのような罵声もなく一部



教室での入学式



総体壮行式



文化祭



体育祭



修学旅行



卒業式

の生徒会代表との対面式となりました。応援練習もコロナ感染予防のために中止となり校歌・応援歌等を放送で流すのみとなり、年度初めの光景が見られなくなりました。伝統の行事が中止せざるを得なく、応援団の活躍の場面が少なくなったのが気がかりです。5月には生徒総会・壮行式がありました。3年生の生徒のみで1・2年生はリモートで教室からの参加となりました。しかし、2年ぶりに生徒会活動・壮行式が行われたことに大きな意義

がありました。

6月には鰐陵総体(体育祭と球技大会)をコロナ感染対策をとりながら実施しました。男子高時代は縦割りの対抗戦でしたが、最近は男女別の種目やクラス対抗の形をとって実施しています。

8月には文化祭を実施、一般公開は行わず校内のみでの

イベント、文化部の発表を行いました。昨年は体育館でのイベント等は実施できませんでしたが、今年度は実施することができ、生徒にとっても良い思い出ができたと思います。

また、12月には修学旅行がありました。関西方面から東北地方・北関東を中心とした方面を変えてクラスごとに実施しました。中止にする学校もある中で、形を変えながら修学旅行を実施できたのは良かったと思います。

2月28日には同窓会入会式を行いました。3年生が卒業と同時に鰐陵同窓会に入会することとなりました。

同窓会から青木利光会長(43回生)高橋勇副会長(39(定

17)、蟻坂隆同窓会報編集長(41回生)、米谷正信運動部後援会長(43回生)に出席していただきました。

歓迎の挨拶に続き、入会記念品の卒業証書ホルダーを手渡し、代表生徒から入会の挨拶をもらいました。94回生209名が新会員として加わりました。



同窓会入会式\_青木同窓会長



3月1日に卒業式を実施しました。コロナ対策のために出席は卒業生と保護者のみで、在校生は不参加、男女共学化になり16年目、男子はスーツ、女子は袴姿が多くなり、華やかな卒業式に変わってきました。

生徒達はこのように制約の多い中でも学校行事や学習・部活動に熱心に取り組み「文武両道」の実現に努力しています。

現在この文章を書いているのは3月初めですが、これから国公立大学の合格発表を迎えます。生徒も教員も不安でいっぱいな状況ですが、きっと良い結果を出してくれると信じています。

### ◇各部活動の活躍

6月の県高校総体は2年ぶりに開催されました、3年生にとって最後を飾る大会であり、東北大会、全国大会への予選会でもあり、各部ともよく健闘して、ボート部、ヨット部、ウエイトリフティング部がインターハイへの出場権を獲得しました。また、文化部も活躍し全国大会へ出場しています。

全国大会での成績は次の通りです。

### ◇インターハイ

#### ●ボート部

男子 シングルスカル…秋山直輝 予選敗退

男子 ダブルスカル…高橋興生・武山慎準々決勝進出

女子 舵手付クォドルブル…小野寺彩音・佐藤邑羽・櫻井実歩・渡邊日菜・高橋凜 準々決勝進出

#### ●ヨット部

男子 420級…山下雅貴・吉田裕翔 39位、岩淵駿平・國分慧・阿部瑞樹 46位

女子 420級…菅野ほか・小泉紅葉・齋藤芽羽・後藤百合香 19位、大場さくら・千葉羽澄・熱海和奏・本田彩香 26位

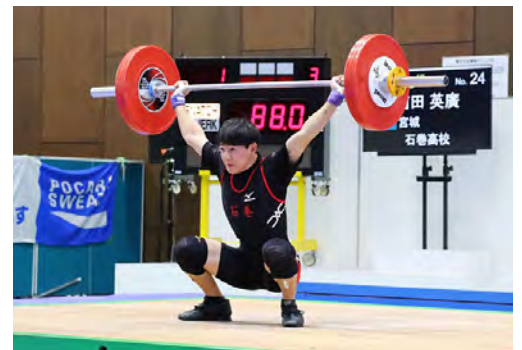
女子 レーザーラジアル級…大島遥 21位

●ウエイトリフティング部  
男子 61kg級…前田英廣 18位

◇全国高等学校総合文化祭

●書道部…佐々木星夏・山本成佳

●美術部…松川陽南・関野真弥



インターハイ ウエイトリフティング部

### ◇同窓会事務局より

令和3年度に同窓会に関する大きな動きがありました。総会中止、観音像の貸与・移転、百周年記念事業実行委員会の発足です。少々紙面を頂き報告させていただきます。

### ◎総会中止について

皆さんもご存じの通り、コロナ禍により中止となりました。令和4年度の総会は8月13日(土)を予定しています。ただし、コロナウイルスの感染状況により中止になる場合もあります。

### ◎観音像の石巻市への貸与

本校図書館に展示されていた高橋英吉氏(3回生)の「聖

観音像」が石巻市教育委員会より博物館への展示の依頼がありました。同窓会と学校が相談し、石巻市に貸し出すこととし、昨年の10月に観音像が移動しました。専門の業者が依頼し分解、傷み等が無いか確認しながら行いました。特に傷みは無く一同安心したところでした。最後は丁寧に梱包され運ばれました。

現在は石巻市の博物館(マルホンまきあーとテラス内)に「海の三部作」とともに展示されており、石巻に来た際には是非見学ください。

### ◇百周年記念事業の進捗状況報告

石巻高校は令和5年4月に創立百周年を迎えます。記念式典は令和6年の秋を予定しています。本来であれば百一年目の令和5年に実施

予定でしたが、ここ2年ほどのコロナ禍で準備が遅れているために、1年遅れの実施予定となりました。

現在、百周年に向けて学校と同窓会が中心となり準備を進めており、今までの周年事業と同様に実行委員会を設立して行います。今年の2月には実行委員会を発足しました。実行委員長には同窓会より青木会長が、各事業などの重要な役職に副会長が就任しました。同窓生の皆様のご協力よろしく願います。

なお、百周年記念事業は左記の内容を予定しています。

- ・ 記念式典
- ・ 記念講演会
- ・ 記念誌編集
- ・ 記念事業
- ・ 祝賀会
- ・ 同窓会報「鰐陵」(百周年記念号)



観音像の移転作業



展示された観音像



ぜひ知ってもらいたい！

## 郷土の偉人「富田鐵之助」

石巻市芸術文化振興財団 理事長 阿部和夫(29回生)

幕末から明治期に、郷土宮城にも「富田鐵之助」という偉人がいました。

富田鐵之助は、勝海舟の抜擢でアメリカに渡り、そこで英語と経済学を学び、その蓄積した力量で日本銀行総裁や東京府知事等を勤めた人です。明治百年をむかえた



富田鐵之助・縫夫妻(長澤信孝氏提供)

昭和四十三年(一九六八)に宮城県では国レベルで功績のあった県出身者十六人を顕彰しましたが、富田鐵之助は、その一番目に挙げられています。

鐵之助は、天保六年(一八三五)仙台で生まれましたが、幕末に活躍した坂本龍馬・土方歳三と同年です。

富田家は、二千石の領地と在郷屋敷を桃生郡小野(現東松島市)に持っていました。鐵之助は仙台の屋敷で暮らし、十歳になったとき氏家緑山について漢学の指導を受けます。しかし、三年後、師匠が死亡したために小野の屋敷に移り父實安から指導を受けます。その期間は十三歳から十七歳迄でした。以後、仙台に出て各種武術を学ぶと共に、真田喜平太

に師事し西洋砲術を学んでいます。その後、藩の命令で江戸でも砲術と蘭学、蒸気機械術、海軍術を学びました。

鐵之助の人生にとって、優れた指導者や影響力を持った人と出会うことが、大きな意義を持つてました。

まず江戸で勝海舟の塾生となったことが、彼のその後の人生を決定づけます。海舟の息子小麿が米国留学するに際し、同僚の庄内藩士高木三郎と共に随行を命じられたのです。その経費千両を仙台藩から支出するよう取り計らってくれたのが、藩の江戸藩邸留守居役をしていた大童信太夫でした。又、彼は鐵之助と福沢諭吉を結び付けてくれました。その福沢は、後に鐵之助の妻となる杉田縫(杉田玄白のひこ孫)を引き合わせて仲人をしていいます。大童信太夫と鐵之助との交流は生涯を通じてなされました。彼が英国勤務をした折、石巻に居て牡鹿郡長をしていた大童(その時は黒川剛と改名)に欧州諸国の軍事外交状況を知らせ

ています。又、大童が息を引きたる際、鐵之助は枕もとでその最期を看取っています。

米国で、勝小麿がアナポリス海軍兵学校に入学したので、鐵之助も明治政府の留学生として、ニュージャージー州ニューアーク市にある商業学校に入り経済財政学を学びます。この学校の校長ホイットニー氏は、彼を自分の家に寄宿させた上、アナナ夫人が英語の手ほどきをしてくれました。後年、鐵之助は、森有礼と共に「商法講習所」(後の一橋大学)の開設備をし、福沢諭吉がその設立趣旨書を書いていますが、この学校の教師として自分が指導を受けたホイットニー氏を日本に招聘しています。

森有礼との最初の出会いは、明治四年(一八七一)一月、森が米国駐在公使として赴任した時でした。更に、日本を密出国していた新島襄と出会ったのもこの頃と考えられます。この森・新島・富田は、様々な交流をしています。富田は、様々な交流をしています。富田は、様々な交流をしています。

三人の尽力で仙台に「宮城英学校」(後に「東華学校」と改称)を創立したことです。この学校の流れは、宮城県第二女子高校につながり、現在の「宮城県二華高等学校」に続いています。

明治五年(一八七二)一月、明治政府の欧米使節団がワシントンに到着します。岩倉具視を中心とする木戸孝允、大久保利通、伊藤博文等の一行でした。一行にとって、米国滞在五年を超え英語を話せる留学生富田の存在は貴重なものでした。「在外領事心得」を命じられ、岩倉使節の随行員となり行動を共にしました。鐵之助は、日本政府要人の知遇を得たのです。

では、鐵之助は生涯を通じて、どんな立場でどんな働きをしたのでしょうか。

まず仙台藩の侍として、江戸、京都、大阪で幕末の情勢探索等を行いました。次いで、米国では勝小麿の保護者であり、留学生でした。そのことが政府要人との縁になっ



富田家屋敷跡の石碑

この碑が建てられたのは、昭和62(1987)年です。当時、屋敷跡は「鳴瀬町立鳴瀬第一中学校」となっており、その敷地内に建立されました。平成17(2005)年の合併で、東松島市となった現在、この碑は、「私立日本ウエルネス宮城高等学校」の敷地内にあります。

て、米国・英国で外交官として働くことになりました。明治政府は、彼が学んできた経済学を必要としていました。英国公使館勤務を免除されて帰国するや、大蔵省の役人に任命されます。併せて横浜正金銀行(当時外国為替を扱っていた)の管理官となります。翌明治十五年(一八八二)には国が中央銀行(日本銀行)を設立する準備を始めるなど、鐵之助もその委員となります。そして日本銀行が開業する際には副総裁となりました。初代

総裁の吉原重俊は、病氣のために亡くなってしまいます。薩摩出身の大蔵大臣松方正義は、朝敵仙台藩出身の富田副総裁を昇格させることに反対でした。しかし、伊藤博文総理大臣、森有礼文部大臣が閣議で富田を推挙し、二代目日銀総裁に決定しました。その一年七か月後、横浜正金銀行の融資問題で松方大蔵大臣と対立して罷免されてしまいます。

その後「東京府知事」となります。在任中の最大の功

績は、多摩地方(当時神奈川県)を東京府に編入させ、府民の水資源の確保とその衛生状態の改善を図ったことです。

五十六歳の時、終身の貴族院議員に勅選され、八十二歳で亡くなるまで議員活動を継続しています。

鐵之助には、経済学者としての立場もありました。銀行論の教科書ともいえるべき「銀行小言」を執筆し刊行しています。やがて時間的余裕がなくなり、リストの著作を大島貞益に翻訳を依頼し自分は校閲をして「李氏経済論」として刊行しています。

鐵之助は、人材を育てる意図で東京に「商法講習所」、仙台に「宮城英学校」を創りました。他にも共立女子職業学校(後に共立女子大学)等の運営に助言する等の協力をしています。

彼はまた、会社経営の実業家でもあり、富士紡績株式会社、横浜火災保険株式会社は鐵之助が最高責任者でし

た。また、トップにならなくても、日本鉄道株式会社、国立七十七銀行、日本勧業銀行の設立に関わり経営に尽力しました。その上、他の銀行、旧大名家、学校等に助言や財政救済を行っています。特に、国立七十七銀行が、株式会社に変換するに際しては、彼に諸般の手続きや役員組織の編成に至るまでの一切を委任し全面的に彼の指導を仰いでいます。七十七銀行にとっては、隠れた恩人と言える人物です。

更に彼は、宮城英学校や七十七銀行の件だけではなく郷土のために多方面にわたって尽力しました。

戊辰戦争犠牲者の慰霊として瑞鳳殿に弔魂碑を建立したり、林子平の顕彰を行ったりしました。旧仙台藩内出身者の奨学金制度として「仙台造士義会」を大槻文彦と共に創立し貧しい人材を援助しました。彼は、郷土出身者を寄食させたり、依頼されて就職、結婚の世話もしました。又、松島の瑞巖寺が明治の大改修をする際、明

治三十三年(一九〇〇)に「保瑞会」を組織して会長となりその推進にあたりました。

大正五年(一九一六)二月二十七日、病の為東京の自宅で八十二歳の生涯を閉じました。その一生を振り返ってみると、誠実で義理堅い人、正義感に満ち金銭にきらいな人、恩師・恩人に礼を尽くした人、面倒見の良い人、自分の善行を出さない人という逸話に満ちています。

薩長を中心とする藩閥政治の中で、それ等に勝るとも劣らぬ活躍をした富田鐵之助は、戊辰戦争後虐げられてきた郷土の出世頭であり、支柱ともいえる人物でした。

端的に言えば、富田鐵之助は、我が郷土の誇れる、世のため人のために生きた偉人であると思います。

※これは、令和元(二〇一九)年、公益社団法人「石巻法人会」が発行した『石巻の歴史から』江戸時代から現代まで』に載せた文に加筆したものです。本寄稿は今野勝幸氏(29回生)の発案のもと、阿部和夫氏(29回生)の御協力により実現したものです。



## 第二回 合同ホームルームの開催

尾口仁志(44回生)

この言葉は、私が高校3年生の時であり、それ以前の諸先輩方には初めてのことと思います。さらに共学となった今では死語同然。男だけのサツバツとした3年目を迎えていました。女性との出会いは、ごくごく限られたものであり、休み時間や放課後に石高の前の道路を通る女子学生を見ては3階の廊下から大声で「声」をかけるのが精一杯。当然、職員室からの注意放送があったのは言うまでもなく、勿論、出頭する生徒などいません。

ホームルームも受験に関することで飽き飽きしていたそんなある日。突如、「女子高(現、好文館高等学校)との合同ホームルーム」の提案がありました。(誰かは記憶なし)「ナニ!」どうするのよ。誰がやるの。一方で「いいんでない!」とワクワク。今まで石巻の高校ではそのような経験がなく、担任の三浦先生としても困ったようでした。そのためには、まず、当時女子高の

教務主任?をしていた父を説得しなければなりません。ただ単に女性と一緒に居たいという単純な男達の欲望が私に託されたのです。早々、夜、父を説得しました。髪を長くして父に反抗ばかりしていた私が、どう説得したのかは覚えていませんが、「校長に話をしてみよう」と。父もどう話をしたのか分かりませんが許可がおりました。それから話はトントン拍子で進み、開催されることが決定しました。

さて、問題は、どのクラスと合同ホームルームをするかでした。ところが、「彼女とうまくいつていないから、あのクラスはダメだ」などと皆んなで言いたい放題。黙って聞いていた担任の三浦先生もきつと、困っていたでしょう。カンカンガクガクでした。が、笑いに包まれたとても楽しい時間でもありました。結局、公明正大なアミダくじとなりました。私が最後の1本を加え、辿ったクラスが3年

5組。そのクラスは当時私が付き合っていた彼女のクラス。「何とかならないか?」と交渉しましたが、見事に却下されました。厳しいものです。但し、ここで問題となってくることは、「アミダくじで決めた」ということです。よって、皆んなには、「絶対口外をするな」と言いましたが、翌日、さっそく女子高の友人から電話があり、「尾口くん、アミダくじで私たちのクラスを選んだって?」。誰だ、いったい裏切り者は。兎にも角にも、男子校と女子高との合同ホームルームが初めて実現となりました。打ち合わせで、当時、駅前のヤマト屋書店の2階にある喫茶店(名前は忘れましたが)

で女子高の学級委員と待ち合わせをしました。なぜか「私の私」が、コーヒーでなく、女子に合わせて人生初めての「メロンソーダ」を注文しました。初めてのメロンソーダの味、微妙に美味しかった思い出があります。

合同ホームルームは、土曜日の午後だったと思います。現地(女子高)集合となりました。普段通りでよいのに、なぜかメガネを外す者、ビシッ

と髪を決める者などなど思い思い。担任はというと、これまた、緊張。「尾口、タクシーで行こう」とタクシーで女子高へ。女子高で父と会い、頭を下げた思い出も。

緊張のもと3年F組は歴史の幕を開けたのでした。もともと、地元で女子高の友達が多かった私は緊張することもなく、懐かしささえ思っていたのですが、彼女は全く午前中で早退したとのことでした。が、そんなことは言っておられず、私と女子高のクラス委員と2人で議長をして終りました。勿論、何をテーマにしたかなど全く記憶はありません。石巻にある高校では初めての試みでした。

妹の時代くらいまで続いていましたが、現在とともに共学となり、それもなくなってしまうしました。ちなみに、当時は、石巻高校は石巻女子高校、石巻工業高校は市立石巻女子高校、石巻商業高校は市立石巻女子商業高校との組み合わせでしたが、妹の話では後に組み合わせが変わったそうです。女子高では、何やら石高生はプライドが高いとか。何年か前に石巻高校を訪

れた時、共学となって普通に会話している生徒さんを見て、高校時代の一コマをふと思い出しました。

### 【後日談】

父の遺品を整理していた時、石巻高等学校60周年記念時に発行された「鰐陵新聞」の冊子が出てきました。きつと父も列席していたのでしよう。当時を懐かしく思い出して読んでいました。卒業して3年後の昭和50年の鰐陵新聞の中で「再考される合同ホームルーム」「マンネリ化打破を目標に」「1年生ではやはり無理?」と大々的にトップ記事として取り上げられていました。1年生にまで広がっていたとは。まだ、早いでしょうが。最初の思いは、単に女性と席を同じくしてみたいという願望からだけなのです。テーマはなんでもよかったのです。こんな事になるとはツユ知らず、後輩諸氏に迷惑をかけたよう。

そんな私自身も高校時代は何かにつけ、一人前に意義、大義などと言っていたように思います。

青春真つ只中でした。

## 三宅哲氏(27回生)を偲んで



東京鰐陵会の役員として長年貢献されました三宅哲氏が令和4年1月18日、「くも膜下出血」で逝去されました享年85歳でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

三宅哲氏は東京鰐陵会の事務局、監事等として活躍され、活動全般に関わってこられました。「東京鰐陵会事務所」として「三宅氏の事務所」を登録させていただき、諸事の対応をされました。また「会報誌の発行」にあたっては企画・構成・取材・原稿作成・編集・校正・印刷等に渡って大きな役割を果たされました。他にも東京鰐陵会の運営に関して多くのご尽力を頂きました。一方東日本大震災が発生して以来、ふるさと女川町への想いは強く、「女川に元気を

送る会」の活動に携わってこられました。

また平成28年には前皇后陛下の御歌碑の建立を提案、運動をされ実現してこられました。

そして三宅氏の優しいお人柄には、多くの皆様から感謝が寄せられました。

## 追悼 ①

## 三宅哲先輩を悼む

千葉弘二(29回生)

三宅先輩の訃報に接して驚きました、まさか、何時もお元気で私たちと接して戴いておられました先輩がお亡くなりになるとは、まだ信じられない気持ちでいっぱいです。

三宅先輩は東京鰐陵総会ごとの準備段階から、歴代会長はもとより会員を引っ張って頂き、創立からの永年のご見識で、何でも相談できた、無くてはならない貴重な存在の方で、何時も盛大な総会となったのも先輩のお陰です。

また、蛸殻町の三宅デザイン

三宅哲氏を偲び、東京鰐陵会での活躍を千葉弘二氏(29回生)に、そして「女川を元気にする会」での活動を村井善郎氏(37回生)に追悼文としてお寄せ頂きました。

また昨年の東京鰐陵会の近況ハガキ「会員からのお便り」が東京鰐陵会への励ましのメッセージとなりました。ここに紹介させていただきます。合掌

ンルームでも長年の間、事務局をご担当され、毎回の総会のあとに発刊される会報「東京鰐陵」の編集にご尽力頂きました。

東京八重洲通り、高島屋デパート近くのコーセー化粧品社で先輩がインストラクターとして活躍されていた頃、昼休みの散策中偶然にも再会、昼食をご一緒する機会があり、次回は当番幹事回生として色々と準備があるので今度の総会に参加するようにと言われたのが初めてでした。

総会も毎年開催される事に

## 追悼 ②

## おながわ会での三宅哲さんの思い出

おながわ会会長 村井善郎(37回生)

なり、会報「東京鰐陵」もカラー化された素晴らしい会報誌に編集されて、ホームページ上で何時でも閲覧できるところまでを先輩に関わって頂きました。

水月院美楽明哲居士  
仙石線榴ヶ岡駅前の慈恩寺の墓地に眠る先輩のご冥福を心からお祈りすると共に露・ウクライナ戦争並びにコロナウィルス戦争が早く収束することを祈り申し上げます。

三宅先輩、心安らかに眠りください。

生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。合掌

三宅哲さんと最初にお会いしたのは東日本大震災直後である。新宿の喫茶店の狭い会議室に20人近い女川出身者が集まり、ふるさと女川の支援方法を相談した。「女川に元気を送る会」の活動はその時から始まった。それから10年、哲さんは常に会の中にいた。

哲さんは、ともすれば早く支援を、と前のめりがちになりがちだった私達を抑え、会の組織づくり、会則等、活動する際の重要な事を私達に

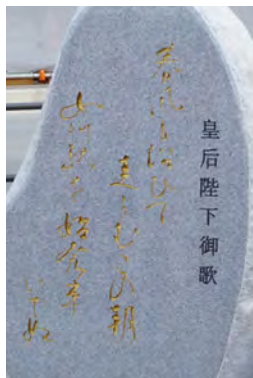
教えた。

コロナ禍で中止するまで毎年続けた慰霊の旅では、いつも照源寺住職に読経してもらったが、照源寺の息子である哲さんの口利きでお布施を格安にしていただき、資金難だった会としてはとても助かった。

「春風も沿ひて走らむこの朝女川駅を始発車いでぬ」

前天皇皇后両陛下が女川に行幸された時、皇后様が詠まれた歌である。この歌で町の人達がとても励まされ





れたことを聞いた哲さんは、御歌碑の建立を提案された。2016年御歌碑建立運動が始まり、哲さんの小中学校同級生の前町議会議長など町の人々も巻き込んで、1千万円以上の献金を集めることができた。御歌碑および碑に刻まれた金色の文字のデザインも哲さんが手掛けた。哲さんは準備のためほとんど手弁当で何度も町に通われた。「支援」から被災地の人達に「寄り添う」ものに活動方針は変化しており、その点からも意義深いものとなった。

最近女川のある人から、津波で流されてしまった昔の記録を、会員の「昔の記憶」を集めることで補完してほしいと、提案があった。会で引き受けることにしたが、哲さんはその作業に意欲を燃やされていた。コロナ禍で作業が中断し、再開することなく残念ながら急逝してしまった。心残り

## 返信ハガキ「会員からの便り」より

### 三宅 哲(27回生)

「書面総会」は例年の総会準備とは違った煩雑さがあつたことと思います。事務局の苦勞に感謝申しあげます。それにしても「整理番号」を入れることは、事務の簡素化になるのでしょうか。配布先は分かっているのですから、今までの手順で問題はないと思うのですが。ポランティアが基本の会ですから、事務的負担はできるだけ少なく、と思います。老婆心ながら余計なことを記しました。

関東地区在住の27回生は、毎年銀座のすし屋で同期会を催していたのだが、新型コロナウイルス禍のためにこの2年間で中止している。この間同期生の動向が気になっていたが今年(令和3年)になって和泉和男さん

だつたらうと思われる。今後この活動を続け、形のあるものにまとめることが、哲さん

に報いることだと考えている。哲さんの柔和な笑顔が今も目に浮かぶ。合掌。

の計報が石巻から知らされた。高校時代は水泳部で活躍、自他ともに健康優良児を認めていた人なので驚いた。我々世代は何が起きてても不思議のない年齢だがこのごろは世話人として連絡すると、恐い返事が返ってこないかとひやひやしている。石巻地区の世話人・佐藤満さんと時々電話で話すのだが、我々世話人は同期生を最後まで見届けなくてはならず、結局仲間からの香典のたぐいは一切受け取れない(笑)宿命?にあるんだねというところに落ち着く。大切な人とは、会えるうちに会おうという言葉を実感している。

【三宅哲様は令和4年1月18日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。】

| 2021年度 東京鰐陵会 収支報告書            |           |                        |  |
|-------------------------------|-----------|------------------------|--|
| 自 2020年10月1日 ~ 至 2021年9月30日   |           |                        |  |
|                               |           | 東京鰐陵会 会長 佐藤 悠          |  |
|                               |           | 会計担当 新田 輝夫             |  |
| 収入の部                          |           |                        |  |
| 科 目                           | 収入金額 (円)  | 備 考                    |  |
| 前期繰越金                         | 856,369   | 2020年10月1日現在繰越金        |  |
| 一 協力金                         | 0         |                        |  |
| 一般 運営資金援助                     | 821,797   | 会員からの寄付金 (221名)        |  |
| 収入 雑収入                        | 7         | 郵貯利子                   |  |
| 収入 小計                         | 821,804   |                        |  |
| 会費                            | 0         |                        |  |
| 会費ご祝儀                         | 0         |                        |  |
| 収入 小計                         | 0         |                        |  |
| 収入 合計                         | 1,678,173 |                        |  |
| 支出の部                          |           |                        |  |
| 科 目                           | 支出金額 (円)  | 備 考                    |  |
| 一 会議費                         | 2,200     | 会議室使用料                 |  |
| 一般 会報誌発行費                     | 200,300   | 1,900部印刷 (デザイン料、諸経費込み) |  |
| ホームページ維持費                     | 19,180    | サーバー利用料、ドメイン名更新料       |  |
| 交通費、会費、広告費                    | 10,152    | 本部会報広告費                |  |
| 通信費、雑費                        | 217,390   | 封筒、インク代、案内状発送費等        |  |
| 支出 小計                         | 449,222   | (一般収支差額 372,582 円)     |  |
| 総 宴会費                         | 0         | 宴会会場費・飲食代、講演者お車代等      |  |
| 会 準備費用                        | 2,420     | 返信用はがき代等               |  |
| 関係事務・雑費                       | 2,152     | 歌入り校歌と応援歌CD代等          |  |
| 支出 小計                         | 4,572     | (総会収支差額 -4,572 円)      |  |
| 支出 合計                         | 453,794   |                        |  |
| 収 支 の 差 額                     | 1,224,379 | 次期への繰越金                |  |
| 現 金                           | 9,359     |                        |  |
| 郵便貯金                          | 1,215,020 |                        |  |
| 上記監査の結果、正確・適正に処理されていることを認めます。 |           |                        |  |
| 2021年10月2日                    |           |                        |  |
| 監事 木村 貴則 印                    |           |                        |  |
| 監事 熊谷 勝義 印                    |           |                        |  |

| 2020年度 東京鰐陵会 収支報告書            |           |                              |  |
|-------------------------------|-----------|------------------------------|--|
| 自 2019年10月1日 ~ 至 2020年9月30日   |           |                              |  |
|                               |           | 東京鰐陵会 会長 佐藤 悠                |  |
|                               |           | 会計担当 新田 輝夫                   |  |
| 収入の部                          |           |                              |  |
| 科 目                           | 収入金額 (円)  | 備 考                          |  |
| 前期繰越金                         | 708,485   | 2019年10月1日現在繰越金              |  |
| 一 協力金                         | 217,972   | 理事会懇親会会費@5000円×41名=205,000円  |  |
| 一般 運営資金援助                     | 535,000   | 運営資金からの寄付金12,972円            |  |
| 収入 雑収入                        | 6         | 総会出席者120名/120,000円           |  |
| 収入 小計                         | 752,978   | 欠席者寄付148名/415,000円           |  |
| 会費                            | 1,086,000 | 121名 (1万円のうち9千円 119名、他計15千円) |  |
| 未費ご祝儀                         | 30,000    | 本部同窓会会長・校長先生等3名              |  |
| 収入 小計                         | 1,116,000 |                              |  |
| 収入 合計                         | 2,577,463 |                              |  |
| 支出の部                          |           |                              |  |
| 科 目                           | 支出金額 (円)  | 備 考                          |  |
| 一 会議費                         | 217,900   | 会議室使用料12,900円                |  |
| 一般 会報誌発行費                     | 172,800   | 1,900部印刷 (デザイン料、諸経費込み)       |  |
| ホームページ維持費                     | 21,318    | サーバー利用料、ドメイン名更新料             |  |
| 広告費                           | 10,152    | 本部会報広告費                      |  |
| 通信費、雑費                        | 259,180   | 封筒作成、総会案内状発送費、会報誌発送費等        |  |
| 支出 小計                         | 681,350   | (一般収支差額 71,628 円)            |  |
| 総 宴会費                         | 899,340   | 宴会会場費・飲食代、講演者お車代等            |  |
| 会 準備費用                        | 85,765    | 案内状印刷、発送、宛名ラベル、封筒作成等         |  |
| 関係事務・雑費                       | 54,639    | 通信費、宅急便代等                    |  |
| 支出 小計                         | 1,039,744 | (総会収支差額 76,256 円)            |  |
| 支出 合計                         | 1,721,094 |                              |  |
| 収 支 の 差 額                     | 856,369   | 次期への繰越金                      |  |
| 現 金                           | 10,603    |                              |  |
| 郵便貯金                          | 845,766   |                              |  |
| 上記監査の結果、正確・適正に処理されていることを認めます。 |           |                              |  |
| 2020年10月2日                    |           |                              |  |
| 監事 木村 貴則 印                    |           |                              |  |
| 監事 熊谷 勝義 印                    |           |                              |  |

## 2022年 東京鰐陵会役員名簿(敬称略)

| 役職              | 回生 | 氏名    | 役職 | 回生 | 氏名    |
|-----------------|----|-------|----|----|-------|
| 参与              | 33 | 木村 貴則 | 理事 | 34 | 武山 祐三 |
| 参与              | 34 | 千葉 保宗 | 理事 | 35 | 平塚 征一 |
| 参与              | 37 | 丹野 静也 | 理事 | 36 | 阿部 長光 |
| 参与              | 37 | 境田 憲男 | 理事 | 36 | 菊地 潔  |
| 監事              | 37 | 佐藤 悠  | 理事 | 37 | 村井 善郎 |
| 監事              | 38 | 熊谷 勝義 | 理事 | 38 | 安住 豊  |
| 会長              | 40 | 加藤 友成 | 理事 | 38 | 早川 誠  |
| 副会長             | 40 | 瀬川 徹  | 理事 | 38 | 和泉 耕二 |
| 副会長             | 40 | 平塚 善伸 | 理事 | 38 | 丁子 幹雄 |
| 事務局長            | 43 | 伊藤 純一 | 理事 | 40 | 阿部 義治 |
| 事務局次長<br>(会計担当) | 42 | 新田 輝夫 | 理事 | 40 | 斎藤 紀夫 |
| 事務局次長<br>(会計担当) | 43 | 遠藤 洋治 | 理事 | 41 | 高橋 兵一 |
| 事務局次長           | 43 | 小田島孝好 | 理事 | 41 | 沼倉 寿男 |
| 事務局次長           | 44 | 尾口 仁志 | 理事 | 41 | 山形 明夫 |
| 理事              | 22 | 鈴木 善治 | 理事 | 42 | 茂泉 吉則 |
| 理事              | 25 | 阿部 剛  | 理事 | 42 | 鈴木 卓郎 |
| 理事              | 25 | 中里祐二郎 | 理事 | 42 | 新田 輝夫 |
| 理事              | 25 | 武山 勝  | 理事 | 42 | 田口 敏明 |
| 理事              | 27 | 平塚 久義 | 理事 | 43 | 伊藤 純一 |
| 理事              | 28 | 成澤 良  | 理事 | 43 | 遠藤 洋治 |
| 理事              | 29 | 岩淵 茂  | 理事 | 43 | 成澤 貴義 |
| 理事              | 29 | 千葉 弘二 | 理事 | 43 | 吉田 祐一 |
| 理事              | 29 | 今野 勝幸 | 理事 | 44 | 半澤 竹彦 |
| 理事              | 30 | 木村 長人 | 理事 | 44 | 尾口 仁志 |
| 理事              | 30 | 首藤 光春 | 理事 | 44 | 鈴木 雅芳 |
| 理事              | 31 | 奥山 興悦 | 理事 | 49 | 平塚 仁  |
| 理事              | 31 | 桑島 馨  | 理事 | 52 | 大内 浩  |
| 理事              | 32 | 小野寺義昭 | 理事 | 55 | 谷口 大造 |
| 理事              | 32 | 手代木 扶 | 理事 | 56 | 亀山 光浩 |
| 理事              | 33 | 熊谷 正茂 | 理事 | 56 | 星野 知倫 |
| 理事              | 33 | 堀内 文夫 | 理事 | 58 | 浅野 剛  |
| 理事              | 34 | 久保 文征 | 理事 | 59 | 佐藤 昌克 |
| 理事              | 34 | 佐藤 洋一 | 理事 | 62 | 成家 新一 |

## 運営資金援助協力者名簿(2022年6月30日現在)

| 回生 | 氏名    | 回生 | 氏名       | 回生 | 氏名    | 回生 | 氏名    | 回生 | 氏名    | 回生 | 氏名     |
|----|-------|----|----------|----|-------|----|-------|----|-------|----|--------|
| 19 | 村井 昭郎 | 29 | 岩淵 茂     | 33 | 阿部 倫夫 | 37 | 木田 道夫 | 40 | 木村 道夫 | 44 | 田 昭治   |
| 20 | 安住 重一 | 29 | 金澤 功     | 33 | 金子 賛  | 37 | 今野 和洋 | 40 | 斎藤 紀夫 | 44 | 半澤 武彦  |
| 21 | 櫻田 巖  | 29 | 木村 莞爾    | 33 | 木村日出夫 | 37 | 境田 憲男 | 40 | 佐々木清光 | 45 | 四野見喜久男 |
| 21 | 佐々木紀雄 | 29 | 今野 勝幸    | 33 | 木村 貴則 | 37 | 榎 勝一郎 | 40 | 佐々木 進 | 45 | 新田 裕史  |
| 23 | 田代 善郎 | 29 | 鈴木 勲     | 33 | 熊谷 正茂 | 37 | 佐藤 悠  | 40 | 瀬川 徹  | 45 | 星 裕亮   |
| 23 | 野中 浩  | 29 | 高橋伝四郎    | 33 | 武山 洋治 | 37 | 白鳥 隆幸 | 40 | 高橋 憲司 | 45 | 山崎 義二  |
| 24 | 石川 正雄 | 29 | 千葉 慶胤    | 33 | 橋浦 武夫 | 37 | 高橋佐千郎 | 40 | 高橋 国一 | 46 | 阿部 順市  |
| 24 | 貝 啓   | 29 | 千葉 弘二    | 33 | 堀内 文夫 | 37 | 丹野 静也 | 40 | 榎澤 修三 | 46 | 伊藤 隆   |
| 24 | 佐藤 允俊 | 29 | 半澤 正義    | 33 | 山内 明  | 37 | 千葉 徹  | 40 | 平塚 善伸 | 46 | 伊藤 哲郎  |
| 24 | 長谷 潔  | 29 | 守屋 晃治    | 34 | 阿部 千春 | 37 | 布施 健  | 40 | 萬代 玄  | 46 | 牛渡 俊   |
| 25 | 青沼 義信 | 29 | 山本 久敬    | 34 | 内崎 光助 | 37 | 星 千秋  | 41 | 遠藤 栄松 | 46 | 佐藤 賢一  |
| 25 | 阿部 剛  | 30 | 木村 長人    | 34 | 岡崎 国男 | 38 | 浅野 正博 | 41 | 小関 眞悦 | 46 | 佐藤 浩二  |
| 25 | 高橋 和雄 | 30 | 首藤 光春    | 34 | 金澤 洋  | 38 | 安住 豊  | 41 | 佐々木 洋 | 47 | 及川 和彦  |
| 25 | 高橋 清記 | 30 | 鈴木 賀夫    | 34 | 久保 文征 | 38 | 阿部 盛行 | 41 | 菅原 新也 | 47 | 佐藤 敦   |
| 25 | 武山 勝  | 30 | 高橋 洋     | 34 | 佐々木孝三 | 38 | 阿部 英明 | 41 | 沼倉 寿男 | 48 | 明石 和彦  |
| 25 | 津田 健三 | 30 | 高橋 勝弥    | 34 | 菅原 国安 | 38 | 大林 正人 | 41 | 本田 敏雅 | 48 | 荒木 泰弘  |
| 25 | 中里祐二郎 | 30 | 田中栄太郎    | 34 | 武山 祐三 | 38 | 熊谷 勝義 | 41 | 山形 明夫 | 48 | 加藤 博   |
| 25 | 山下 文祥 | 30 | 畠山 尚     | 34 | 千葉 保宗 | 38 | 熊本 正義 | 42 | 伊藤 信一 | 48 | 鈴木 雅芳  |
| 26 | 吉野 敏  | 30 | 蜂谷 国彦    | 35 | 小川 紘一 | 38 | 小池 泰  | 42 | 氏家 次郎 | 48 | 水澤 茂   |
| 26 | 浅野 貞夫 | 30 | 松田 勝治    | 35 | 谷 光彦  | 38 | 小山 慶孝 | 42 | 川元 和紀 | 51 | 高橋 英紀  |
| 26 | 三宅 宗議 | 30 | 渡辺 武     | 35 | 星野 捷二 | 38 | 佐々木正秀 | 42 | 田口 敏明 | 51 | 森口 秀志  |
| 27 | 阿部 尚之 | 31 | 阿部 弘     | 35 | 本木 信  | 38 | 留澤 佑  | 42 | 土屋 清治 | 52 | 高橋 章建  |
| 27 | 石田 三成 | 31 | 伊藤 克夫    | 36 | 阿部 長光 | 38 | 早川 誠  | 42 | 新田 輝夫 | 52 | 三浦 得雄  |
| 27 | 及川 栄喜 | 31 | 奥山 興悦    | 36 | 梅澤 智  | 38 | 船山 浩志 | 42 | 村上 圭司 | 56 | 星野 知倫  |
| 27 | 奥田 貞幸 | 31 | 木村 祐     | 36 | 大森 彬  | 38 | 渡部 正昭 | 42 | 氏名不明  | 58 | 後藤 眞毅  |
| 27 | 佐々木忠夫 | 31 | 櫻井 勝夫    | 36 | 菊地 潔  | 39 | 阿部 重雄 | 43 | 伊藤 純一 | 60 | 佐々木克仁  |
| 27 | 菅井 武彦 | 31 | 遠山日出夫    | 36 | 相良 秀夫 | 39 | 岩崎 宏幸 | 43 | 遠藤 洋治 | 62 | 成家 新一  |
| 27 | 徳江 明  | 32 | 阿部 隆雄    | 36 | 藤 俊治  | 39 | 及川 舜  | 43 | 小田島孝好 | 63 | の場 一成  |
| 27 | 平塚 久義 | 32 | 角田 守弘    | 37 | 安住 智彦 | 39 | 熊谷 道夫 | 43 | 佐藤 雅洋 | 64 | 渡邊 公威  |
| 27 | 平山 貞夫 | 32 | 加藤 憲一    | 37 | 阿部 貴  | 39 | 畠山 廣造 | 43 | 佐藤 淳一 | 65 | 大和 優雅  |
| 27 | 船田 清孝 | 32 | 鎌田 一郎    | 37 | 伊藤 孝道 | 39 | 松谷 敬  | 43 | 鈴木 実  | 75 | 木村 祐介  |
| 27 | 三宅 哲  | 32 | 木村 久     | 37 | 遠藤 順政 | 40 | 阿部 義治 | 43 | 成澤 貴義 |    |        |
| 27 | 吉田 貴  | 32 | 高橋 勝彦    | 37 | 遠藤 信雄 | 40 | 石森 雅文 | 43 | 矢野 光祐 |    |        |
| 28 | 石川 昌也 | 32 | 手代木 扶    | 37 | 大森 雅司 | 40 | 岩崎久二夫 | 43 | 吉田 祐一 |    |        |
| 28 | 成澤 良  | 32 | 鰐陵 32 回生 | 37 | 岡部 博行 | 40 | 加藤 友成 | 44 | 尾口 仁志 |    |        |

合計207名/746,797円

## 計報(2021年8月1日以降)

前回発行以降に連絡及び今回の総会開催案内の返信等で、下記のご逝去の報をお受けしました。心からご冥福をお祈り申し上げます。鰐陵回生順、年月日は、お受けした返信等によるご逝去の年月日です。

## 記

|       |       |                   |                     |
|-------|-------|-------------------|---------------------|
| 13 回生 | 千田 良  | 不明                | ご家族より電話             |
| 21 回生 | 野村 英夫 | 2021(令和3)年8月13日逝去 | 返信はがきにて             |
| 25 回生 | 水澤 昇  | 2021(令和3)年2月6日逝去  | 返信はがきにて             |
| 27 回生 | 佐藤 英男 | 2020(令和2)年7月29日逝去 | 2021.9.13 ご家族より電話   |
| 27 回生 | 三宅 哲  | 2022(令和4)年1月18日逝去 | 返信はがきにて             |
| 27 回生 | 宮本 三男 | 2020(令和2)年2月逝去    | ご家族より連絡             |
| 28 回生 | 久道 勝信 | 2021(令和3)年6月18日逝去 | 2021.10.13 ご家族より電話  |
| 28 回生 | 松川 文隆 | 2017(平成29)年6月8日逝去 | 普通はがき               |
| 29 回生 | 丹野 学  | 2022(令和4)年2月28日逝去 | 返信はがきにて             |
| 29 回生 | 木村 哲也 | 2021(令和3)年8月逝去    |                     |
| 29 回生 | 林 丈人  | 2020(令和2)年11月逝去   | 2021.10.9 千葉弘二さんより  |
| 35 回生 | 金子 重芳 | 2021(令和3)年9月27日逝去 | 2021.11.26 連絡       |
| 40 回生 |       | 2019(平成31)年逝去     | 2021.10.20 ご家族よりメール |
|       |       |                   | 返信はがきにて             |

(2022(令和4)年6月30日現在)

発行●東京鰐陵会(石巻高等学校同窓会東京支部)  
会長 加藤友成  
発行所●東京鰐陵会事務所(新田 輝夫 方)  
〒115-0043 東京都北区神谷1-3-5-304  
TEL & FAX : 03-3927-8856  
編集●東京鰐陵編集委員会  
Mail : info@gakuryou.com  
【振込み口座】●郵便振替口座番号 : 00180-4-350194  
加入者名 : 東京鰐陵会

## 【編集後記】

2020年度の総会では中止となり、2021年度は書面総会となり、そして2022年度総会では中止となりました。会報誌の中心テーマであったリアル総会報告がなかったこともあり、第20号は昨年に引き続き「交流特集号」というテーマで制作することにしました。特集は前号と同様、3本の特集を組むことにしました。特集1では石巻圏での経済面の活動状況を報告しております。石巻市商工会議所青木会頭、東松島市商工会橋本会長、そして女川みらい創造株式会社阿部社長から報告して頂きました。また今号は、各自自治体が入力している「ふるさと納税」の紹介を通じて地元企業(産品)の応援という願いも込めて2市1町から寄稿いただきました。特集2では「会員と共に」というテーマで佐藤悠前会長に4年間を振り返っていただきました。また、館澤佑氏(38回生)及び亀山裕昭氏(70回生)、そして亀山兵吉氏(23回生)からそれぞれの活動の紹介をしていただいています。「会員からのお便り(ハガキ)」では皆さんからの声がダイレクトに伝わってきました。特集3では「母校は今」というテーマでコロナ禍での学校の状況を報告して頂きました。また昨年就任された「高梨校長先生」から挨拶を頂きました。今回初めてのご挨拶となります。特別寄稿では阿部和夫氏より第二代会長としての「富田鉄之助」のご紹介を頂きました。本号は新たに編成された編集委員で制作されました。メンバーは加藤友成会長(40回生)瀬川徹副会長(40回生)平塚善伸副会長(40回生)伊藤純一事務局次長(43回生)新田輝夫事務局次長(42回生)遠藤洋治事務局次長(43回生)小田島孝好事務局次長(43回生)尾口仁志事務局次長(44回生)そして佐藤悠監事(37回生)丹野静也参与(37回生)境田憲男参与(37回生)の11名で行いました。長年にわたって会報作りに携わってこれら大変お世話になっていた三宅哲氏が突然亡くなられたことは驚きとともに大きな悲しみがありました。何とか完成できたことは三宅哲氏の今までのご指導の賜物といまさらながら痛感した会報作りでした。今号では「三宅哲氏追悼コーナー」を設けました。ここに改めて感謝とともに三宅氏のご冥福をお祈り申し上げます。(編集委員会)